

英
蘭
農
村
協
同
組
合

產
業
組
合
中
央
會

№ 00900

中國合作學社
仙舟先生紀念合作圖書館
(簡稱)
仙舟合作圖書館



書位號數 C304.2
677

登記號碼 900

C304.2
677

mt
F331.34
1

例言

本書は英蘭農村協同組合の發展過程を要領よく論述したもので、都市消費組合と農村協同組合との關係が我國のそれと反對で、農村組合の方の發達が非常に遅れてゐる英蘭農村協同組合の種々なる發展過程は、都市組合と農村組合との連繋が高調せらるゝ我國の現狀に鑑み、誠に興味深きものがある。次に英蘭農村協同組合の二、三の特徴を示せば、(一)協同組合競賣市場の存在、(二)聯合會制度の失敗、(三)専門的穀物販賣組合の存在せざる等々である。

最後にホップ販賣組合の發生から消滅に至るまでの過程は農産物販賣統制問題が喧しく論議せらるゝ我が産業組合界にとつて、誠によき示唆を與へるであらう。

因みに原書は一九三〇九月 Sir Horace Plunkett Foundation にて出版したる『Agricultural Co-operation in England』で土岐定一氏の翻譯に依るものである。翻譯亦流暢明確敢て總ての關係者諸君の必讀をすゝめる次第である。

昭和十一年三月

産業組合中央會



3 2285 6515 0

目次

第一章 序説	一
第二章 農村協同組合史	四
第一節 農業組織聯合會設立まで	四
第二節 農業組織聯合會の時代	六
第三節 一九〇〇年の情勢	七
第四節 農業組織聯合會の下に於ける發展	八
第五節 農業卸賣聯合會	九
第六節 特殊販賣組合	一一
第七節 其他の組合	一三
第八節 最近六ヶ年の情勢	一四
第三章 購買組合	一六
第一節 總論	一六
第二節 トラックロード組合	一八
第三節 貯藏及び特別サービス	一九
第四節 購買組合の農産物出荷	二〇
第五節 州組合	二一
第六節 小州組合	二三
第七節 半州組合	二四
第八節 二種類の地方的組合	二五
第九節 一般情勢	二八
第十節 消費組合との競争	三一
第十一節 財政政策	三二
第十二節 經營と支配	三三
第十三節 購買組合の職能	三五
第十四節 「特に穀物販賣取扱ひに就いて」 農村購買組合に於ける卸賣組合の地位	三七
第四章 ミルク及び酪農販賣組合	四〇

第五章	家畜並に食用肉販賣組合	五七
第六章	羊毛販賣組合	六六
第一節	總論	六六
第二節	初期の羊毛販賣	六七
第三節	スコットランド式組合	六八
第四節	協同販賣組織の利益	七〇
第五節	當面の諸問題	七一
第六節	協同販賣の影響	七三
第七節	組合内部の問題	七四
第八節	販賣策の對立	七五
第七章	鶏卵販賣組合	七八
第八章	ホップ販賣組合	八三
第九章	青果物販賣組合	八八
第十章	結論	九二

英 蘭 農 村 協 同 組 合

第一章 序 説

世界に於ける協同組合運動史上の第一頁を飾る可きロバート・オーエンの熱情を承けたイングランド協同組合運動が、特に消費組合の部門に於て、世界に冠たる發展を遂げたことは、誰しも之を當然の事とするであらう。九十有一年の昔ロツチデールに於て二十八人の開拓者達が一週に一片か二片づゝの金を出して二十八磅の資本金を貯へ僅かに二十八人の組合員で以て始めたあの消費組合は今日では全世界消費組合の指導原理となり、消費組合運動の聖地として萬國の組合運動者を引きつけて居るのである。又其卸賣組合についてもマンチエスターに廣壯なる大本部を有し、ロンドン、プリストル其他數ヶ所に壯大なる支部を有して居る。各國の産物を買ひ集めるために、世界の至る所に支店を設け輸入商の仕事をして居ると同時に、自ら汽船を所有して運送を行ひ、印度其他には茶の大農場を有して居る。又

大生産者でもある。小麦粉、バター、煙草、石鹼、衣類、織物等大小百數十ヶ所の工場を有して年々數億圓からの仕事をして居るのである。誠にイングランドの消費組合の發展はすばらしいものであつて、我國のみならず全世界の消費組合運動界の到達の目標となつて居るのである。従つてイングランド消費組合の研究者も多く、又其文獻も多い。協同組合研究者の間に於ては「イングランド即消費組合。消費組合即イングランド」のシノニムが成立してゐるのである。此の隆々たる消費組合の蔭に隠れて微々たる農村協同組合の研究をする人はない。或る程農村協同組合發展の度に於てはポーランドは元より獨乙、日本、伊太利同じ英國内に於ても愛蘭等の諸國には遠く及ばないのである。然し研究の對象として見たるイングランド農村協同組合は其有用さに於て何等他國に劣る所ありとは思はない。或ひは或る點に於ては他國に求め得られぬ大なる收穫があると思ふ。特に現在我國に於ても機會ある毎に問題となつて居る所の農村組合と

組	羊		青果		販賣組合		其他		小計	總計
	組合									
羊	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
青果	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
販賣組合	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
其他	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
小計	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876	2,968,876
總計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

購買組合の部に於て州組合とあるは經營地域が一州或は數州に渡る大ききの組合を指し半州組合とは一州の半分を地域とする組合のことである。又州組合の中に二列の數字あるは上部の列は州組合中數州を地域とする三大組合の數字であり下段の列は其他の州組合の數字である。

イングランドの農村協同組合は其組合の系統的機關の發展に於ては何等見る可きものがないのである。我國に於ける如く一町村一組合主義による單位組合、其上に府縣單位の地方聯合會その又上に全國的聯合機關と云ふ如き、形の上に於て驟然としたる組織を持たぬのである。これは一つはイングランドの農村協同組合が純粹に農民の自發的意欲から起きたことを示すものであり、一つは消費組合の驚異的發展に後れて出發した農村組

合の必然的所産たる農村組合の消費組合への依存、特に消費組合中央機關への依存の結果である。消費組合對農村組合の關係に於て此の國と全く對蹠的地位にある我國に於ては今後益々都市消費組合の農村組合特に其中央聯合機關に對する依存となつてあらはれるであらう。

本稿は余の我國に於ける農村協同組合研究の一準備として且つは又恩師本位田教授に對する中間的報告として作成したものであつて、主として一九三〇年九月 Sir Iorance Pinnick Foundation に於て出版したる "Agricultural Co-operation in England" より譯出したるものである。

第二章 農村協同組合史

第一節 農業組織聯合會設立まで

イングランドに於て農村協同組合發展の先驅者たる光榮を保持して居るのは「農業並に園藝組合」(Agricultural and Horticultural Association)である。それは一八六七年社會經濟的改革の指導者たるエドワード・オーエン・グリーンング (Edward Owen Greening) に依つて最初はマンチェスターに、やがてロンドンに移されて設立された。其組合は消費組合が家庭必需品を取扱ふのにならつて、農民の必需品を賣るために組織されたのである。そして取扱品の純良、優秀に重きを置いて、専門分析家を備つた。其組合は又「Agricultural Economist」なる機關雜誌を發行した。組合員の大部分はロンドン附近の諸州にあつて遂には四千人を突破したのである。約五十年の間存続して目ざましい仕事をして居たが歐洲大戰中に解散した。

一八六九年カムバランド (Cumberland) に於て肥料の詐欺的販賣のことから農民の感情が激化された。肥料並に飼料法

(Fertilizers and Feeding Stuff Acts) の通過前々のことであるから、それに對して何等法的救助策がなかつた。そのために自然と農業並に園藝組合に注意の目がそなわれ、それにならつて良質の肥料、飼料の獲得のために協同組合が組織された。

Industrial and Provident Societies Act なるものが出来てそれによつて法的根據を得て一八七〇年にアスバトリア農業協同組合 (Asparia Agricultural Co-operative Society) が登録された。それは農民に依つて純粹に田園地方に於て組織された最初の組合であり、其昔から現在まで残つてゐる組合の一である。

これに引續いて四つの他の組合が其地方に組織され、其中フアネス及南カムバランド組合 (Furness and South Cumberland Society) のみが獨立組合として現在まで残つて居る。同じ頃他の地方に他の數個の農業者の機關が設立されたが其全部が Industrial and Provident Societies Act (Industrial and Provident Societies Act を通譯ではないが今後協同組合法と譯すこととする) に依る組合として登録されたわけではない。現在残つて居る二組合の中でチェシヤイア、シユロツプシヤイア及びノー・スウェーユス農業者協同組合 (Cheshire, Shropshire and

North Wales Farmers' Supply Association)は最初株式會社として始められ後になつて協同組合法に依る組合として登録したのである。之に反して西部諸州農業協同組合 (Western Counties Agricultural Co-operative Association)は現在まで一貫して株式會社として存立して來た。農業必需品供給のための最初の組合が組織された頃に協同組合類似のチーズ工場の一團がダービシヤイア (Derbyshire) に始められたが最初の二、二年以後はさつぱり榮えなかつた。而も協同組合的販賣へちつとも進展して行かなかつた。まづれもなく協同組合的性質を有する一、二の酪農組合がやがて出來たが、大體此の發展はすつと後のことであつた。

グリーンング (Greening) は一八六八年早くも農業中央會 (Central Chamber of Agriculture) の注意を協同組合に引きつけたが其團體によつて其問題が實際論議されたのは一八九一年になつてからであつた。そして其事について委員會が設置され、同委員會は一八九三年に報告をした。其頃約三十の農業必需品供給の機關があつた。或ものは株式會社、他は協同組合組織であつて、倉庫を有するもの、自己製造をなすもの、單に周旋所

式に過ぎぬもの、又一、二の商品を取扱ふに過ぎぬものもあつた。委員會は協同組合原理の採用が農民の利益を増進することを宣言した。そして又次の様な意見をも發表した。「購買組合の理論を販賣に應用して組合を作つても有效である。特に農民が受取る價格より非常に高い値段で消費者に賣られる生産物については。」

一八九四年愛蘭農業組織聯合會 (Irish Agricultural Organisation Society) がサー・ホレイス・フランケット (Sir Horace Plunkett) に依つて設立された。その事がイングランドに於ける其問題についての關心を刺戟した。一八九六年には農業中央會は農産物販賣の問題を考慮して委員會を任命して農産物販賣のためにイングランド或は他國に於て協同組合の原理が何の程度まで應用されて居るか、それをより以上に擴張することが可能であるか何うか、そして果して然らば何の手段が最も妥當であるか何うかを探究しやうとした。委員會は情報の蒐集に一年以上も費して、一八九八年に報告をした。委員會の結論はこうであつた。「協同販賣組織は望まじきことである。が然し其完成は又困難なものである。愛蘭農業組織聯合會に依つてなされて居る

様な仕事はイングランドに於ても純粹に宣傳的活動の團體によつてなされる必要がある。委員會は又農業中央會の協同組合部の設置を遂言した。

一九〇〇年に英國農業組織聯合會 (British Agricultural Organization Society) が、ニワーク (Newark) に於て組織された。それは次で一九〇一年には他の團體たる全國農業協會 (National Agricultural Union) と合併して農業組織聯合會 (Agricultural Organization Society) を組織した。

第二節 農業組織聯合會の時代

農業組織聯合會は其創設の年から會合に、會議に、刊行物にあらゆる積極的活動を續け、協同組合同盟 (Co-operative Union) と結び、一九〇六年には協同組合同盟と農業組織聯合會との聯合委員會が任命され、次で一九〇九年に協同組合同盟及び卸賣組合 (Co-operative Wholesale Society)、農業組織聯合會並に愛蘭及び蘇格蘭土の農業組織聯合會の聯合會議が設けられ農民並に消費者の組合運動の間に於ける聯絡取引の可能性について研究した。仕事の大部分は分科委員會へ委託され、分科委員

會は一九一七年まで規則正しく會合した。此の時に當つて農村組合と消費組合との兩運動の中央團體の間に競争が始まつて (後に云ふが) 兩者の關係が大いに緊張した。一九一九年聯合會議が元の通り取り行はれたが何等得る所がなかつた。

一九〇九年まで農業組織聯合會は協同組合同盟の様に私的團體であつて自發的なる出資と寄附に待つて居たのであるが、一九〇九年になつて農業組織聯合會が協同組合的小農地保有 (Co-operative small-holdings and allotments) 及び割地の組合に對して援助して活動したことに對して大藏省の小農地保有會計 (Small-holdings Account) から補助金を受けた。一九二二年には其補助金に加ふるに發展並に道路改良基金 (Development and Road Improvement Fund) から更に大なる補助金を得たのである。小農地保有會計からの補助金と併せて、それ等の補助金は一九一七年までは年々約一〇、〇〇〇磅の平均になつた。發展並に道路改良基金からの補助金を受けたために聯合會は組織を變更せねばならなかつた。組織聯合會の理事者の半分だけが聯合會の組合員たる組合に依つて選ばれることゝなつた。一九一八年になつて農業組織聯合會の組織は再び改正されて組合

員たる組合に依つて選出させる理事者の数は増加され地方支部の機關は精緻にされた。一九一九年に農業組織聯合會は、自己が財政的援助を受けて居るために、何事をするにも發展委員會 (Development Commission) (Development and Road Improvement Fund) から補助金を與へて居るために A. O. S. 監督のために設けられた委員會) の認可を受けねばならぬ地位にあることに明らかに不満を感ずるやうになつて來た。尤も發展委員會は農業組織聯合會の政策に對してかれこれと非議しても居たのである。農業組織聯合會は年々戴く補助金の代りに二十萬磅の補助金を求めた。委員は何等適當なる統制なしに大なる補助金を出すことに不賛成であつた。そして代案として一九一九年から一九二三年の間だけ幾らか増して補助金と貸付金とを給付し、それを年々減らし行くことの案を提出した。之では其期間の最初の期間だけしか組合の經費を賄ふに足るに過ぎぬのであつて全く補助金がなくなる時までには組織聯合會は自活出来るやうになる必要があつた。委員會の其態度は一部は公費の經濟的使用と云ふことから、又一部は農業組織聯合會の業績は經費とつり合つて居ないと云ふこと、及び早急な大規模な組織は賢

明でないことと云ふこと、又それが農業協同組合の組合員の忠實を得るに失敗したと云ふこと等の理由から決定されたのである。補助金が停止された後、衰退の中にも農業組織聯合會は經費を償ふために出資や寄附金を増收するやう色々の試みをしたが、然し大部分の組合は中央機關に對して非常なる關心を持たなかつた。そして一九二四年農業組織聯合會は解散した。

第三節 一九〇〇年の情勢

農業組織聯合會の組織された時に於けるイングランド農業協同組合の数は正確な所は不明であるが、協同組合同盟で公表された數字に依ると十九組合、組合員數四、八一四人となつて居る。左に其表を示す。但し農業競賣市場は含まず協同組合同盟に加入せざる購買組合の或るものは省略されて居る。

組合の 種類	組合數	組合員數		出資額 (磅)	借入資本 (磅)	賣上額 (磅)	餘利 (利息) (磅)
		組合員數	組合員數				
購買組合	三	1,152	1,152	100,000	100,000	100,000	1,152
酪農販賣組合	四	1,121	1,121	100,000	100,000	100,000	1,121
耕作組合	三	1,121	1,121	100,000	100,000	100,000	1,121
總計	一〇	3,394	3,394	300,000	300,000	300,000	3,394

◎印は概数を示す

第四節 農業組織聯合會の下に於ける發展

農業組織聯合會の影響に依つて有らゆる種類の組合の数は非常に急速に増加した。一九二〇年までに農業組合の数は三百八十一となり組合員数は八四、七二九人となつた。特に購買組合はイングランドのあらゆる地方に増加した。一九〇六年肥料並に飼料法(Fertilisers and Feeding Stuff Acts)が通過するまではそれ等組合の主なる仕事は組合員のために粗悪品混入等を防ぐ

一九二〇年に於ける情勢

ことであつた。同法の通過後は商品の取扱ひ、仲買人の手数料の除去と云ふことが一層重大なる仕事となつて來た。一九〇八年には購買組合は百十四を數へ、一九一四年には組合数は約二百にまで上昇した。大戦中は組合數の増加の勢ひは衰へたが、組合員數や賣上高は確實に増加した。特に賣上高は物價の騰貴と云ふ事に依つて膨脹した。短期間肥料及び飼料の生産、價格に輸出は政府の統制する所となつたが此の政策に依つて組合は損をする所か、むしろ徳をした様である。左に一九二〇年に於ける農村協同組合の情勢を示す表を掲げる。

組合の種類	組合數	組合員數	購買事業	販賣事業	合計
一般購買組合	二二三	五五、九一三	九、四二六、四一三 ^磅	一、八九三、一一五 ^磅	一一、三一五、五二八 ^磅
酪農販賣組合	六一	九、〇一八	五七八、二九八	三、八二六、八九三	四、四〇五、一九一
鷄卵並に家禽販賣組合	五七	一三、二八〇	一三〇、九六〇	六四三、八一四	七七四、七七四
協同組合的販賣市場	三一	五、二八七	二六、七一五	五六二、二七七	五八九、四三二
屠殺場組合	一〇	一、二三一	！	四三七、三八六	四三七、三八六
總計	三八一	八四、七二九	一〇、一六二、三八六	七、三六三、九二五	一七、五二六、三一

組合は最初から大きさに於ても種類に於ても様々であつた。機能的に購買組合は二種類に分けられる。周旋所式のもの、倉庫を持つたり、工場を持つたり、運輸機關を有したりして商的企業を営むものとの二種である。殆んど全ての大組合は必需品を配給するのみならず、組合員の穀物、秣、種子、甘藷を市場に出す。又羊毛や家畜を取扱ふものもある。大きさに於て五十から六十人の組合員を有し、賣上高も數百磅と云ふ地方的小組合のものから數州に渡る地域を有し、戰事と云へ百萬磅以上の賣上を有する大組合まである。

大戰直後は農業組織聯合會の大活躍の時代である。多數の新組合が設立され、又多數の小組合を數個の大組合に合併すると云ふ政策を採り、盛んに合併が行はれた。一九二一年二二年の兩年に於て物價下落が起り、殆んど全組合はそれに苦しんだ。中には解散の止むなきに至つたものもある。一九二三年には物價の動搖は恢復し始めたが、一九二六年に炭坑爭議が起つて物價の動搖は悪化し、農村の不況は増して行つた。殊に穀物生産地方に於てはそれが甚だしかつた。だがそれにも拘らず協同組合は實質的に進歩したのである。不況の年に於ては現金賣上こそ

は減少したが、販賣數量は非常に増大したのである。

第五節 農業卸賣聯合會

農村購買組合の中央機關設立の試みは購買組合の歴史と切つても切れぬ關係にある。一九〇四年には農業組織聯合會は何等經濟的活動をしない所の顧問的部門を設けた。それは翌年農業協同組合聯合(Agricultural Co-operative Federation)となつた。同聯合は單位購買組合の一團に依つて支持され、出資され、そしてそれ等のために飼料、肥料、種子を買つた。だが彼等の支持は充分でなかつた。大組合は分離したので同聯合は一九〇九年に解散した。次いで、現在他の組合のために購入をして居る最大の組合を中心として、或ひは新聯合體の組織に依つて地方的聯合會を設立したら何うだらうと云ふ提案があつた。此の提案に刺戟されて小組合の有益なる合同が相當行はれたが何等聯合會は出現しなかつた。又消費組合の中央協同機關たる卸賣組合に農業部を設けたが良いと云はれたりしたが、其當時は何もなされなかつた。

一九二二年に農業者購買中央會(Farmers' Central Trading

Part)が組織され数年の間仕事をした。單位購買組合のために大量購入に當り、又或種の製造事業、農具、農業機械の配給を行った。所が間もなく卸賣組合が農業部設立に乗り出したので兩者の間に衝突が起つた。

一九一八年二月に購買中央會は農業卸賣聯合會(Agricultural Wholesale Society)に變更し資本金一〇〇、〇〇〇磅でロンドンに本部を置いた。飼料、肥料、農具、種子、酪農器具等を取扱つた。農業卸賣聯合會は又或る程度まで販賣事業にも従事した。一九一九年には同聯合會は殆んど二百萬磅からの仕事をした。だが然し最初から重大なる困難の下に活動して居たのである。單位組合は各々組合員一人につき最小限度一磅の出資と其實上高の二パーセントの追加出資を要求されて居る。割地組合(Allotment Societies)は各々組合員二十人につき一ポンドの出資と其實上高の二パーセントの追加出資を要求されて居るのである。そして表決権は出資高に比例して差等が設けられて居る。全ての組合が此の聯合會に加入して居るわけではないのであるから資本金は不十分であることは明らかなことである。農業卸賣聯合會組織後間もなく臨時總會に於ける決議に依つて組

合の義務出資額を増加することが決定された。此の決議は其時に於ては殆んど論議をかまさなかつた。實際に於ては恐らく全ての組合に充分には知らしめられなかつたのである。然しそれは終に不幸なる結果を持つた。聯合會の借入資本の一定額は又單位組合から借入れられたものであつた。

一九二二年三月には更に一步進んで農業卸賣聯合會助成會社(Agricultural Wholesale Society Development Company)なるものを設けて農業卸賣聯合會への金融の仲介事業をさせた。聯合會の適當なる經營と云ふ點に於てもかなりの苦汁をなめさせられた。尙ほ又單位組合は農業卸賣聯合會と必ず取引をしますと云ふ何等の誓約も結ばれて居ない、であるからして單位組合の聯合會に對する忠實と云ふものは誠に頼りないものであつた。多くは出資者ですらもなかつた。又其頃は極端なる不況時代で、物凄い物價下落期であつた。農業卸賣聯合會は五年間毎年五萬磅から六萬磅の缺損をした。そして遂に一九二四年には解散と云ふことになつてしまつたのである。損失は大なるものであつた。其の損失は仁慈的動機から出資者や保證人となつた個人に轉嫁された。そして又合併其他に因つて組合員を増加

し、従つて農業卸賣聯合會對する出資責任を増した組合に轉嫁されたのである。それ等組合の或るものは聯合會の清算人に依つて義務履行を請求されるまで斯の如き義務(出資に關する)の存することを知らなかつたやうであつた。其要求(出資)の正当性が問題となつて遂にハウス・オブ・ローズ(House of Lords)(英國上院であつて我國の貴族院とは異り單なる立法機關ではなく司法的機關でもある)に持込んだ。結局其問題は農業卸賣聯合會の勝訴となつた。之がため個數の組合は毀滅に瀕し、一、二の組合は遂に解散した。卸賣組合に依つて救助されたものもあつた。同時に全國農業者同盟(National Farmers' Union)は其事件を採上げ、一九二八年に寄附として政府から三五、〇〇〇磅の補助金を得られる様にした。又全國農業者同盟は協同組合法の若干の修正案即ち「將來組合は組合員の個人的なそして特別の同意なくしては増資してはならぬ」と云ふ案を議會を通過せしめた。

農業卸賣聯合會の崩解の結果卸賣組合は唯一の協同組合中央體として農業者の組合に供給するに至つた。卸賣組合は一八六四年に消費組合(小賣組合)に對する製造、協同の中央機關とし

て組織され、漸次農業と接觸を保つに至り、農場や豚小屋を有する組合に對して自己の製粉工場で出来る屑粉や其他農業必需品を賣つた。次第に此の方面の仕事も擴大して行つて油糟の製造、種子の生産、其他の農業方面のことに廣く手を伸した。石炭の配給も又長年やつて來て居るのである。卸賣組合は又農産物の買手でもあつた。穀物、酪農生産品、食肉、果實を買取つた。卸賣組合は保險部、銀行部も有して居る。長年間の消費組合の支持に依つて卸賣組合は安固なものとなり、財政的基礎は確立して來たのである。多くの農業協同組合は常にそれと取引して來たが今や尙は一層多數の組合が顧客となり、中には出資者となるものも出來て來た。

第六節 特殊販賣組合

販賣組合の發達は購買組合の發達よりも遅く且つ數に於ても少ないのである。そして一、二の生産物について極く短期間存して居た外には何等中央統制機關を有しなかつた。一九一三年までに三十五の酪農販賣組合があつたに過ぎぬ。而して或るものはチーズ或ひはバターを、最も多いのは主としてミルクを液

體のまゝ小賣して居る組合であつた。戰時状態が幸して彼等を急速に發展せしめたが、間もなく恐慌がやつて來た。農業組織聯合會(Agricultural Organization Society)はユニオン・デールズ(Unted Dairies)との總合併を提案した。これは全國農業者同盟(National Farmers' Union)によつて反對され、取止めとなつた。然し三大組合は無條件で合併された。鶏卵並に家禽販賣組合は農業組織聯合會が創設したのであるが一九〇二年には數個の組合が登録されて居た。そして大戰後に其數は堅實に増加して行つた。全國家禽組合組織聯合會(National Poultry Organization Society)(此聯合會は一九一三年農業組織聯合會と合併した。その特別販賣部門は英國家禽組合が繼承した。)が設立された。それは英國家禽組合聯合會(British Poultry Federation)と云ふ特別な販賣部門を有して、全ての地方組合の中央販賣代理店として活動したが成功はしなかつた。それを引繼いで出來たのが英國家禽組合(British Poultry Society)であつて、それを又受繼いだのが農業卸賣聯合會(Agricultural Wholesale Society)である。それから後になつて英國鶏卵販賣組合(British Egg Producers)が設立せられ此の方面の仕事をしたが成功しなかつ

た。戰後數年にして傷手を受けて解散した。酪農販賣組合と同様に大戰は鶏卵販賣組合の設立を刺戟したが戰時中設立の組合は戰後のより困難なる經濟的條件に遭つて大概瓦解した。

最後に一九二九年になつて鶏卵のための全國統一符號(Trade Mark)の出現は今までの組合より一段と大規模な、そして一層精巧な方法を採用して組合の設立を刺戟した。

青果物販賣組合の設立は一九〇〇年前は微弱なものであつた。一九〇〇年後になつて二、三の組合が設立された。一九一三年までには此等の組合は九あつた。(其中には一、二の競賣市場をも含んで居る。)多數の組合は大戰中の食糧保存運動と關聯して官廳の保護の下に大戰中に出來た。然しそれ等は殆んど長持しなかつた。

食肉並に家畜販賣組合は概して遅れて發達した。數個の一般的購買組合は競賣又は私的交渉で以て家畜、主として豚の販賣を企てた。或ものは屠殺まで行つた。漸次二、三の専門的協同組合家畜市場が出來たが、世界大戰はむしろ此發展を妨止した。協同屠殺組合は之に反して大部分は食糧統制時代に出來たのであつて、多くのものは政府に支持され、統制され、次いで農民

の組合となつたものである。農業卸賣聯合會は其中央販賣統制機關として活動することを提案したが、ものにならなかつた。何等の中央統制機關も今は存在して居ない。二つの協同組合的ペーコン工場がデンマークに刺戟されて一九二二年に始められた。大戰後は別に五、六の組合が出来た。然し大部分は解散し又は私人の手に歸した。唯二つの元祖たる工場が今尙ほ經營に成功して居るに過ぎぬ。

専門的羊毛販賣組合は大戰後の發展にかゝるものである。尤も數個の一般的購買組合は何年も前から小規模に羊毛を取扱つては居たが、一九二〇年以來専門的羊毛販賣組合は其大きさに於ても數に於ても急速に進展して來た。

ホップの販賣についてはその全國ホップ販賣組合(National Hop-marketing Society)の經營が試みられたが、それは後述の理由のために成功しなかつた。

第七節 其他の組合

機械協同利用組合は或國に於ては大いに發達して居るが、イングランドに於ては打穀機の所有に關する組合の一群に限られ

て居る。それ等の組合のすべては大戰の終り頃に於て組織され大部分は細々ながら現存して居る。電氣利用組合は邊境の村々に供給する一、二の組合があるに過ぎぬ。大規模電氣計畫が實行されて居るために電氣利用組合の數は増加しないやうである。家畜飼養組合は、農務省に依つて適當なる便宜が與へられて居るので、その必要は殆んどなかつたが、一、二の組合が時々設立された。

一九〇七年に農業組織聯合會が採用した割地組合(Allotment Society)は急速に増加しそして今尙ほ非常に無數ある。だがそれ等は一般に幾分農業協同組合の分野外にあるものゝやうである。小農地保有者組合(Small-holders' Society)は小規模の農業購買販賣組合に類似して居るが、之に反して割地組合は全くと云つても良い程經濟的行爲をしないのである。彼等は土地保有の問題顧問的、教育的性質の仕事に従事して居る。多くの場合に於て彼等組合は農村的と云ふよりは寧ろ都市的なものである。

農業組織聯合會の設立當時は相當の數の信用組合(ライファイゼン式)が信用組合聯合會(Co-operative Banks Association)

の統制下に存在して居た。それ等信用組合の数は其後數年微かながら増加した。そして一九〇六年に農業協同組合中央金庫 (Central Co-operative Agricultural Bank) が設立された。だが何等實質的進歩はなかつた。中央金庫の事業を擴張して他種類の協同組合にも金融し得るやうにしやうと提案されたが何等具體化しなかつた。そしてやがて中央金庫は没落した。信用組合の大部分は戰前はとも角として戰時中は其活動を停止して居たやうである。一九二三年には信用法 (The Credit Act) が出來て復活の勢ひを見せたが然しそれも長続きしなかつた。信用法を利用して出來た二、三の組合も今日では何等活動して居ないのである。

より以上成功した實例は農業保險である。一九〇八年と一九一〇年とに二組合が形成され今日尙ほ繼續して居る。多數の購買組合は其代理店として活動して居る。火災保險が最も多く取扱はれて居るが生命保險も、雇傭主責任保險も取扱はれて居る。家畜保險は食肉販賣組合以外では殆んど取扱はれて居ない。消費組合の組織した協同保險組合も亦農業者の保險をも取扱つて居る。

第八節 最近六ヶ年の情勢

農業組織聯合會の没落後二つの機關が残存した。其一はウェールズ農業組織聯合會 (Welsh Agricultural Organization Society) である。それは一九二二年國民的感情からイングランドの組合と分れたのであつて、活動を繼續し今尙ほ健在である。他の一は小農地保有並に割地組織聯合會 (Small-holdings and Allotment Organization Society) であつて、小農地保有 (Small-holding) と割地 (Allotment) の二種の仕事をするために組織されたのである。一九三〇年まで仕事を繼續したが、一九三〇年になつて、これまで小農地保有の仕事を除外して割地の仕事に主として關係して居たので、全國割地保有者聯合會 (National Federation of Allotment Holders) と合併された。

イングランドの農業協同組合に關する限り、農業組織聯合會の解散後その機能は色々の程度に於て三團體に包含された。即ち農務省の「協同組合並に市場課」(Co-operation and Markets Branch) と全國農業者同盟の設けた「協同組合委員會」(Co-operative Committee) 及び協同組合同盟の「農業部」(Agricultural

Department)の二機關である。

第一、農務省は協同組合並に市場課を設けて、協同組合並に農業一般の研究調査をし、斯の如き仕事に従事せる農民に對して忠告を與へた。又時々農産物販賣目的のために設備や建物に對して貸付を爲した。

第二、農業協同組合に關する法律上其他の點について忠告を得ることが出来るやうにして戴きたいと多くの組合や組合運動者達は全國農業者同盟へお願ひをした。同團體はやゝ濫々と協同組合委員會を設けることに同意した。協同組合事業の色々の方面に關する相當の數の質問を同委員會は取り上げた。新規の模範規則を起草し、その議會通過も相當有望視されて居る。

第三、一九二五年に協同組合同盟が農業部を設立し其目的の一として生産者消費者の兩協同組合組織間の取引の促進をはかつた。

第三章 購買組合

第一節 總論

イングランドに於ける農村協同組合として最初に自發的に發生したのは此の購買組合である。それ等は最大の進歩を遂げ今日では農村協同組合の最強の一部門となつて居る。その故に此の農村購買組合はイングランドの典型的なる組合と云つても良いのである。それは丁度アイルランドに於ては酪農組合が、中央歐羅巴の組合運動に於ては信用組合が、それぞれ典型的なものであると同様である。イングランドに於ては労働者のものである農民のものである。消費者の協同組合と云ふものが協同組合の理論實踐の一般的發展に特別に貢獻したことは事實である。

購買組合の初期の歴史及び農業組織聯合會の獎勵の下に組合の急速に増加したことは既に述べられた。再び之を繰返す必要はない。一九二四年農業組織聯合會の解散した時、農民の組合は色々の不運な目のめぐり合はせに苦しんだ。世界大戦中、彼等は農業の一般的繁榮のお蔭を受け、彼等の賣上はインフレ

ーションに依つて増大し、經營上の危険は戰時統制によつて極小にされた。大戰後暫時の間、非常に發展した。新組合は組織されるし、現存の組合は合併されて大規模となり、組合員も賣上も、其他あらゆる方面に於て増加を示した。新組合は戰時中の好景氣時代の貯蓄に依つて充分なる資本を得ることが出来た。然し舊組合の大部分は此の資金を得ることに成功しなかつた。彼等の賣上の増加に伴つて必要な組合員の出資の増加を得るに不充分であつた。それ故に舊組合は銀行に不相應なる依存をしたのであつた。一九二一年に至つて物價は下落の一途をたどり、其停止する所を知らず、一九二二年—一九二三年と年を加ふる毎に其深刻の度を増すばかりであつた。組合は數方面に於て苦しんだのである。大組合の大部分は過度の品物を前買ひし保存して居たので彼等は仕入價格以下で以て手放さねばならなかつた。一方農民自身も大なる影響を受けたのであつて、彼等はその必需品の購入を制限するか或ひは購入するとしても非常に長期の信用を必要としたのであつた。時としてそれがために個人商人から買ひましたのである。最後に、農業卸賣聯合會は解散し、そして多くの組合は各々重い責任を背負ひ込んだ。

一九二三年の終りまでに約七十の組合が登録から除去されたのである。それ等の組合の大部分は弱小組合であるが、一、二の大組合も其中に含まれて居り、中には重要組合もあつた。他のものにあつても賣上現金は下落した。三分の一になつたのもあれば、二分の一になつたもの、三分の二になつたものもあつた。組合員や資本は一般に殆んど影響されなかつた。そして實際に於て不況の始まつた後一、二年は屢々増加を繼續した。然し不況のどん底時代になると殆んど全ての組合は重大なる損失を蒙り、中には減資して出資一磅を十二志或ひは八志に縮減するに至つた。

前述のやうに二、三の組合は卸賣組合の救助に依つて、瀕死の傷手から救はれた。然し大部分は彼等自身の努力に依つて解決に奮心し、繁榮へと努力したのである。一九二三年から事態は多少見直して來たが然し、一九二六年には炭坑争議の發生に因つて一層の蹉跌を來たした。一九二七年、一九二八年には經濟状態は良好であつた。殆んど全ての組合は其頃までには既に好況を取戻して居た。或るもの、特に大戦後建設された組合は彼等の賣上を大いに増加した。一〇〇、〇〇〇磅以上の賣上を

有する大組合の数は實質的に増加した。けれども賣上の最大記録は七〇〇、〇〇〇磅強であつて、大戦中のそれより小なる數字である。之に反して、解散の暴風は平靜に歸した様に見えたが進歩のあとの見えない澤山の小組合があつた。好況に躍る大組合の増加と進歩しない無数の小組合の存在との此の對照は尙ほ一層究明されねばならぬ點である。それは後に説くことゝする。一九二九年には農業必需品の價格、特に飼料の價格は再度の下落をした。それがため販賣數量は豫定通りに増加したやうであつたが、現金賣上高に於ては非常に減少して居るのであつた。此の苦境にも拘はらず大部分の組合は立派に經營して餘剩をあげ、或る場合に於ては不況時代に縮減された出資の恢復と云ふ特別な功績を残したのもあつた。

割地保有者の組合及び販賣組合であつて組合員のために一定量の必需品を配給する小數の組合を除いた外にイングランドには百十一の農業購買組合がある。此等購買組合は經營方法に於てよりは、寧ろ大きさ、性質に於て著しく様々である。全てとは云はないが多くの組合の進歩に於ては三つの特殊な段階が記されて居る。

第二節 トラックロード組合(The "Truckload" Society)

内外諸國に於て農業者の多くの組合が採る最も單純なる形式はトラックロード式組合である。其組合では一時雇或は全く無報酬の事務員が組合員の需要高を評價して品物を注文して個人へ鐵道で送つてもらふやうにするのである。全て代金は組合を通じて渡す。斯の如き活動に依つて大量購入の或る程度の利益を得ることが出来る。最小の組合の場合に於ては經營は大抵周旋と云ふことに基礎を置いて居る。そして組合はその經營を償ふに必要な程度に販賣價格を定めるであらう。とまれ、こうした組合には經營上損失を受けると云ふ心配がちつともないのである。けれども大組合の或ものに於ては、前以て買つて置くのが常であつて、品物が組合員に依つて需要せられるまで貯藏して置くのである。このことは既に組合に依つて貯藏設備を借用する方向への第一歩である。前買ひの場合に於ては組合は始終餘剩貨物を手に持つて居るのであつて取引を見付け、或ひは他の買手發見の努力をせねばならぬ。一時、仕入れ價格に評

價されたる經費を加へて以て販賣價格とするのが多くの組合の方法であつた。一時的に活動する極く僅少の組合を除いて他の組合が尙ほ此の方法を固執するか何うかは疑問である。殆んど全ての組合は市場價格で販賣し餘剰は配當の形式で分配する方法を採つて居る。トラックロード式の組合に於ては經營費は非常に低くある可きであり又實際低くもあるのである。現在の最大のも、そして最高度に發展した二つのトラックロード式組合は各々一人の有給職員を有して居て、經費は賣上の二・五パーセントである。そして多くの小組合に於ては通常一時雇の事務員を有して居て經營費は尙ほより小なのである。或る場合に於ては此の組織は又資本についても經濟的である。例へば出資一磅につき七十磅からの取引をして居るのである。そして組合員には一人につき一磅或ひは一磅十志以上を出資することを要求されて居ない。現金販賣主義は理論上は原則となつて居る。然し實際上に於てはトラックロード式の組合と他形式の組合とでは此の點に於て多少の相違がある。經營の地域及び組合員の密度も亦他形式の組合と異なるのである。

近年トラックロード式組合の数は減少しつつある。一九二三

年には十三あつた。一九二九年にはたつた七つである。他形式に轉向した組合もあるのかも知れぬが數個の小組合は全く解散してしまつたのである。現在残つて居る組合の中でオックスフォードシャイア農業者組合とミドランド農業者組合の一組合は大

組合とまでは行かぬ中間的なものであつて、各々六萬磅から七萬磅の賣上を有し相當廣範圍に渡つて經營して居る。彼等はトラックロード式は自己の組合員の要求に最も適合するものであるとの確信から、此のトラックロード式を熱心に固執して居るのである。そして事情の許す限りの完全なる經營をするに至るまでに發展し組合員のために穀物の出荷をも取扱つて居るのである。彼等は本質的に大農業者の組合である。本節の題目が示して居るやうに一時に必需品の一貨車を取り得る程の人々の組合である。之は必然的に小農業者は無視されて居ると云ふことを意味するものではない。オックスフォードシャイア農業者組合は大農業者の註文と同時に小量手交の世話もやいて居るのである。加ふるに小保有農地者の組合(Small Holders' Society)の幾つかをも併呑して居る。併し全體として大農業者の組合であると云ふことが其特色である。此の理由のために組合が充分活動

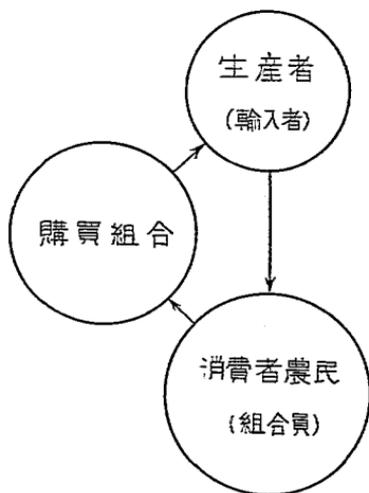
して組合員の註文を相當量確保して居る場合には一組合員當りの購買高は非常に大である。

第三節 貯藏及び特別サービス

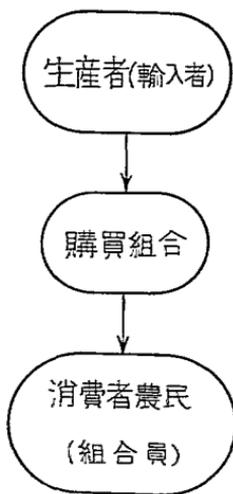
協同組合運動發展の第二の段階は借入れ或ひは購入の何れかに依つて倉庫を獲得することである。これは即ち組合をして委託購入の要を無くせしめて、農村商人の地位に押立てしめるものである。此の發展は特に小農業者の必要に依つて促進された。併し大農業者と雖も忙がしい時の間貨物を受取らないで放置しておいて貨車留置料を取られることに因つて、トラックロード式組合の不便を屢々感じて居るのである。従つて多くの組合は自ら貯藏を始めるやうになり、トラックロード式は漸次其影を没しつゝあるのである。一時は多くの組合はこゝで以つて足ふみをし、貨物を大量に仕入れて置いて組合員がそれを引取りたいと思ふやうになるまでそれ等を貯藏するを以て満足して居るやうであつた。がやがて殆んど全ては發展の第三段階へと進んだ。その段階に於ては組合は自分で運搬車を所有して貨物の運送をやり或ひは運搬車を雇ひ入れて運送を行ふのであ

る。これは組合の近所に住んで居る二、三の組合員が自己運送を好まぬためとか、組合から遠くに住んで居る大農業者達が組合の何等かの取扱ひを経なければ鐵道貨物を受取ることは出来ぬとするためと云ふことを意味するのではない。既述の現存七トラックロード式組合の例外はあるがイングランドの組合の殆んど全ては生産者又は輸入者から消費者たる農民へ飼料、肥料、種子をもたらし活動をするのであつて生産者(輸入者)と消費者農民の間にあつて連結物たる役目をするのである。

Truck-load 式



他の形式の組合



多くの組合は更に他の仕事をする。第一に、そして最も普通なのは製粉所の経営である。更に他の方面へ其仕事を擴張して居るものがある。即ち石炭、器具、金物、殺蟲液、機械の配給をして居るものもあるのである。多くの組合は其経営に精を出し、貯蔵所を設け規則正しく市場へ出張したり、註文取りを置いたりした。最小なる組合を除くの外、殆んど全ては有給常任事務員を有し、而もしばしば大勢の職員を有して居るのである。

第四節 購買組合の農産物出荷

更に購買組合の多くのものは農村商人のやる農産物出荷の仕事の方面に相當手をつけて居る。大部分は穀物、秣、甘藷の取

扱に局限されて居る。それ等は屢々他の組合員へ轉賣され、或ひは他の農村協同組合へ、或ひは又消費組合へ、商人へ賣られるのである。これは購買組合から起る自然的發展であると思ふ。多くの地方に於ては、羊毛を取扱ひ、時としてはチーズを取扱ふのは、農村商人の習慣である。そして若しそうすることがその競争者を除く所以であるならば協同組合は無理にでも農村商人と同じ仕事をしなければならぬ。尙ほ更に進んで腐敗性のももの販賣を企てる購買組合が出来て來た。購買組合は屢々大規模に鶏卵を販賣し、中には全國統一符號包裝所(National Mark Packing Stations)となつて居るものもある。ミルクは委託販賣ではあるが取扱はれて居る。規則正しい家畜の競賣が行はれ、購買組合經營の下に屠殺場が行はれ、果實や野菜は競賣や格付の方法の下に賣られて居る。此の傾向は最初に於ては試験的なものであつたが、歐洲大戰に因つて刺戟され、今やイングラント組合運動の一つの特色として確立されて居るのである。購買組合の大部分は協同保險組合の代理店である。一、二の組合が時を異にして農産物(組合員生産の)の小賣店舗を開いたが殆んど成功しなかつた。肉店が一つ牛乳店が一、二それに

購買組合

金物店が一つ、これ等が現在残つて居る小賣店舗である。一組合は製粉所を一つ有して居るが、製パン所は何處にも見當らない。家庭用品の配給はウエールズやスコットランドのハイランドに於ける如くイングラントに於ては採り上げられなかつた。斯の如き仕事をする組合は邊境の丘陵地方に唯一つあるだけで、組合員に雜貨や衣服を供給して居るのである。

これまで述べたことで分るやうに英國の購買組合は、トラックロード式組合の例外はあるが、其種類が非常に同質のものであつて、それがため組合の機能に従つて分類して取扱ふことが出来ない。そうかと云つて何もかもつきまぜて一所にして取扱つたら良いかと云ふとそうは行かぬ。五百磅の賣上を有する組合、五千磅の賣上を有するもの、五十萬磅の賣上を有する組合を統計的に平均を取つて表はすことは明らかに不正確である。組合を大きさに従つて分類して取扱ふことは購買組合觀察に最も適切である。但し大ききとは組合員數、賣上、經營地域の三要素の平均に依つて決定される。

第五節 州 組 合

全體的に全國の協同組合の發展を觀察するには組合の地理的分布を見ることが第一に重要なことである。地圖を一瞥すれば農村購買組合が殆んど各州に存在することが分る。ケムブリッジ、エセツクス、ミドルセツクス、ハートフォード、ベフォード、ハントンドン、リンカン、ルトランドは例外として購買組合は存在しない。だが之等の地方すらも或る程度までは其近隣の州の組合によつてサービスされて居る。消費組合の慣用語を借りて云へば此等の州は「協同組合の沙漠」であつて、此等の州を除けば、イングランドは便宜上「州組合」と呼ばれる所の四、五の大組合に依つてサービスされて居るのである。それ等組合の大部分はそれ等がサービスする所の州の名前を持つて居り、其名稱の示す全地域に渡つて彼等の活動を擴張して居る。此れは彼等がその地域に於て獨占的經營をして居るとか、全農民は彼等の組合員であるとか、彼等は必需品の地方的取引の大部分を取扱つて居るとか云ふことを云つて居るのではない。けれどもそれは次の様なことを意味するのである。即ち「何んな遠い所に居る農民でも、若し彼等に其意思さえあるならば、比較的大きなそして確固たる協同組合の一員となることが出来、そして滿

足に行くサービスを受けることが出来るのである」と云ふこと、そして「その結果今述べた一、二の大沙漠地方に於ける外は新に組合を形成する必要はない」と云ふことを意味するのである。

それ等購買組合の地域の大小は時としては地理的條件に依つて決定されるものであるが、其一團の大組合は一州或ひはそれ以上に渡る組合と、地方的組合よりは大であるが一州の半分或ひは三分の一を經營範圍とする所の組合とに分けられる。先づ第一に三つの大組合がある。二つは南部諸州購買組合と東部諸州農民購買組合であつて、大地域に渡つて經營して居る。最後のはプレストン農民購買組合であつて非常なる熱意を以て一州以下の比較的小地域に活動して居る。次の數字は其三組合の平均である。

組合員		非組合員		借入		賣上		高
取引者	數	取引者	數	資本	必用品 配給高	賣上 取扱高	合	計
11,000	1,000	5,000	400	£100,000	£100,000	£1,000,000	£1,000,000	£1,000,000
11,000	1,000	5,000	400	£100,000	£100,000	£1,000,000	£1,000,000	£1,000,000
11,000	1,000	5,000	400	£100,000	£100,000	£1,000,000	£1,000,000	£1,000,000

準備金の數字は、大概の大組合は減價銷却、或ひは他の秘密

積立金として持つて居るから、表のまゝ、正直に受け入れてはならぬ。他人資本は一般に一部は組合員からの長期の借入金と一部は銀行からの當座借越からなつて居る。三組合の中二組合は當座借越が他人資本の最大要素を形成して居る。全て之等の三組合は組合員の穀物、秣、そして或る程度までは腐敗性生産物を販賣して居る。尙ほこまかい平均数字をとれば次の様である。

一組合員	一取引者	出資一磅	全資本	一組合員	一組合員
當上高	當上高	當上高	當上高	當上高	當上高
三〇・五磅	一八・四磅	一〇・八磅	四・五磅	二・八磅	六・七磅

最後に、經營費は各々、賣上の六パーセントに及び、組合員に與へられる平均信用期間は年末の未済債務から計算すれば七週間を少しばかり越えて居る。三組合は全部餘剰を生じて居る。一組合は出資に五パーセントの利子を支拂ひ、一は利子五・五パーセントを支拂ふ外に組合からの購買高に應じて組合員に一磅につき三片の配當をして居る。更に第三の組合は六パーセントの利子と一磅につき一片の配當をして居る。

購買組合

第六節 小州組合 (州を經營地域とするが前者よりは小なる組合)

其他の州組合二十一の平均数字は次のやうである。

組合員數	資本			賣上	
	出資高	準備金	借入資本	必需品配給高	組合員生産物取扱高
七三〇	一八、三六八・八磅	二、九九〇磅	三、八三三・三磅	一七、三三三・三磅	一、四一七・四磅

此等の数字と前記三大組合の数字との間に於ける最も著しい相異は「三大組合に於ては借入資本が出資金よりも大であつたのに反して、此等組合では借入資本が著しく少ないこと」及び「此等の組合に於ては組合員の生産物の販賣と云ふことが三大組合の場合に於ける程重要な部門となつて居ないこと」である。非組合員取引者對組合員の割合は兩者ともほぼ同様である。全體より見て、借入資本の構成に於ては銀行からの當座借越が最も多いが二、三の組合は或る程度まで他からの借入金に依存して居る。けれども中には全く彼等の出資金や準備金にのみ頼つて居る一、二の組合がある。次の表の数字は或る他の傾向を示して居る。

存することに負ふ所が大なのである。若しそうでなかつたら其數字は減少して居る可きものである。當座借越以外の借入金が大組合の場合に於けるよりも相當多額に上つて居る。組合員に對する非組合員取引者の割合は、若し絶對的に組合員とのみしか取引しない所の一、二の組合がなかつたならば、大組合の場合よりも幾分高くなるであらう。尙ほこまかい平均は次の様である。

賣		上		高		一組合員		一組合員	
當一組合員	取引者	出	資	一	一	出	當	一	一
當一組合員	取引者	一	一	一	一	出	當	一	一
一六九磅	一〇六磅	八・三磅	四・七磅	二〇磅	三・八磅	出	當	一	一
						資	高	當	高
						本	本	本	本
						高	高	高	高
						當	當	當	當
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						一	一	一	一
						組	組	組	組
						合	合	合	合
						員	員	員	員
						當	當	當	當
						り	り	り	り
						者	者	者	者
						取	取	取	取
						引	引	引	引
						者	者	者	者
						當	當	當	

進歩して居ない。或ひは最近數年に衰微すらも現はれて居る」こと、「それ等はあまりにも小さいので自己の組合員に對して目ざましい利益を興へることが出来ない」と云ふこと、「それ等が近隣の強大なる組合に併呑されること、或ひは例外的な場合としてお互ひに合併することは經濟的にも、能率上から云つても、一般的に利益である。」と云ふことである。一、二の組合は少量に穀物を取扱ふが、此グループの組合の大部分は組合員の生産物の販賣を企てない。此のグループの組合はイングランド全土に渡つて存在する典型的なる田園的地方組合とヨークシャー及ランカシア特にペンニンヒルのあたりにもみ發見される所の都市的地方組合とでも呼ばれる所のものと二つに分けて考察すると一層了解し易いのである。

四十七を數へる田園的地方組合の平均は次の様である。

組合員數	非組合員		組合員		組合員合計
	取引	取引	取引	取引	
出資額	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	10,000 磅
準備金	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	11,111 磅
借入資本	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	10,000 磅
必需品配給高	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	10,000 磅
組合員生産物取賣高	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	1,111 磅	10,000 磅

一組合員	一取引者	一組合員	一取引者	一組合員	一取引者
當リ	當リ	當リ	當リ	當リ	當リ
九〇 磅	六〇 磅	九二 磅	四・五 磅	一〇 磅	二〇 磅
出資高	出資高	出資高	出資高	出資高	出資高

此の表に於ける出資一磅當り賣上高は既述のグループの組合のそれと大差ないが、組合員當り、取引者當りの賣上は非常に減少して居ることを示して居る。これは半任意的基础の上に活動し、そして非常に限られたるサービスを提供する小組合の多數存在することに負ふのである。投資高も亦同様の理由から低い。準備金は割合に充實して居る。借入資本は約三分の二は銀行の當座貸越である。然し借入資本も準備金も持たぬ所の非常に小さい組合が澤山ある。それ等の存在が自然平均數に影響して來るのである。經營費は一・五%から十四%に及び、平均して賣上の六%弱である。信用期間は平均八週間弱であつて、現金支拂のものから六ヶ月未済負債に至るまで區々である。五組合は缺損をしたが其中二組合は尙ほ引續いて出資に對して利子を支拂つて居る。五、六の組合は小餘剰を生じたが、それは繰越された缺損填補に充用された。一年中何等取引をしなかつ

た所の組合が一つある。二十五組合は出資に利子を支拂つた。大概約五%である。然し一、二の組合は六%或は四、五%の利子を支拂つて居る。十三組合は取引高に應じて配當をした。一般に一磅につき二片或ひは三片であつて、一組合の如きは六片の配當をして居る。

最後は先に述べた都市的組合の一群である。それ等は十二を數へ大きさに於ては非常に區々であるが他の點に於ては特別な齊一性を有して居る。彼等の平均は次の如くである。

組合員數	資 本				賣 上 高
	非組合員 取引者數	出資高	準備金	借入資本	
111	100	1,111磅	1,111磅	2,000磅	1,443,333磅

此等組合の平均を見て目につくことはそれ等組合は田園的組合の平均よりやゝ大であること及び、農産物の出荷をしないと云ふことである。借入資本は出資と比較すると些細なものであつて其三分二は組合員からの借入金である。準備金は珍らしく素晴らしい割合である。そして減價銷却とか秘密積立金とかに隠れたる準備金を持つ所の大組合の場合とは違つて此等の組

購買組合

合は組合の眞實の準備金を良くあらさまに表示して居る。他の平均數字は次の様である。

賣 上 高		一組合員	
一組合員	一取引者	一組合員	一組合員
當り	當り	當り	當り
一〇一磅	六〇磅	一〇磅	一〇磅
		四・六磅	二一磅

此のグループの組合に於ては出資一磅に對する賣上高は高い數字を表して居る。これは一つは非常に長い信用期間の與へられることは稀であつて、平均は約六週間であると云ふ事實に依つて説明される。更に此の信用期間の短いことも亦購入者は少量を買ひ、そして組合員は普通酪農業をやり、彼等自身の生産するミルクを自から小賣して居るのであつて資本の回轉が早いと云ふ事實に依つて始めて可能なのである。之に反して經營費は配達は、必ずしもやつては居ないのであるが、非常に高率である。或る組合では二十五%からかゝつて居るのである。平均は十%を越えて居る。如何なるグループの組合と比較しても最高の數字である。三組合は缺損をし、十七組合は餘剰を出した。十四組合は出資に對して利子を支拂つて居る。普通には五

であるが、時には二%のもあり、三%、六%、七%の場合もある。唯の二組合が一九二九年には組合員の購買高に應じて配當をした。各々一磅につき一片と四片とである。けれども一九二八年にはこれ等二組合の他に四組合が同様の支拂をした。

第九節 一般情勢

各種の英蘭購買組合の平均状態を示すために数字が既に與へられた。それ等の数字はそれから或る一般的敘述が推論され得る論據を提供して居る。

先づ第一の考察は地域と組合員の相關聯した問題から起る。今日の全購買組合の組合員の数は四萬人を越えて居る。最近の國勢調査によつて農業に従事する人口として記録された数のせいゝ一割である。之に反して現存の組合は實際に全國に渡つて有益なる便宜を供して居ると云ふことが既に示されて居る。地理的と同時に組合員数の上に於ても完成を爲し遂ぐることは明らかに組合運動の第一の課題の一である。組合員の密度は地方によつて、組合によつて、それぞれ區々である。同じ組合の地域の中に於ても差があるのである。組合の本部の近くに住ん

で居る農民達は殆んど全部が協同者である。然るにすつと遠い地區では一人の日和見な組合員があればよい位である。時としては密度は農業の種類に依り、或ひは組合の能率に依り、時には地理的狀態や、尖鋭なる競争の存否に依つて異なるのである。組合員が組合から物を買ふ程度は又同様に區々であり、そして同様の理由から異つて來るのである。四萬人の組合員に加ふるに少くとも二萬五千人の非組合員が組合の顧客となつて大體規則正しく協同組合から必需品を購入して居るのである。最初に手をつける可きことは此等非組合員を組合員に改變することである。或る組合では近年の不況に依つて減資し、或ひは財政状態が悪化して此の手段を取ることの出來ないものもある。だが然し殆んどどの組合は彼等を新組合員として仲間に入れることに躊躇しないのである。繁榮して居る組合の中には、組合設立に何等參與しなかつた者を新たに組合員として入れて組合の利益を分つことを好まぬものがある。斯の如き組合の態度は公共的でなく、従つて民主的でなく、近視眼的であると云はねばならぬ。何となれば斯の如き政策を採る組合は必然的に制限された非進歩的組合となつて、或る一定限度以上に決して發展しない

で、終局的には營利的なる企業に墮落して行くことになるのである。新組合員から入會金を取るとか、元々規定された額より以上の口数を出資させる義務を負はせることは當然のことであると云ふことが最もよく云はれるのであるが、これすらも賢明なことであるか否かは疑はしいと云はねばならぬ。最も急速に進歩した組合は何れも此の説を採用しなかつたのである。

尙組合が非組合員とどし／＼積極的に取引を行ふことによつて組合員は利益を受け、組合の経営は好轉するのであると云ふ考へが一般に行き渡つて居るやうである。此の状態について協同組合道徳と云ふ點とは別に重大なる經濟的批判が行はれ得る。大概の組合は投資が充分でない。従つて殆んど全ては銀行其他からの借入資本に依存して居る。其時其折の必要のためには銀行の當座貸越は出資よりも安くつくものであるが、出資口を持つてもらつて永久的資本を大いに増加したいと云ふ要求が充分に存在する。『現在二百磅に定められて居る出資額最高限度を更に高めた』と云ふことが組合の政策として宣言されて居ることからして見ても、此の要求は組合一般の要求であることが認められ得るのである。であるからして若し全ての非組合員

取引者が組合員として出資するに至るならば、此の増資と云ふ組合一般の要求は相當満たされるであらう。これとは別のことであるが、不取引の組合員の問題もほゞ之と同様の性質を持つたものである。此等不取引組合員は一般に農業廢業者、農業者の寡婦等であるが、たまにはそうでなくて單に出資者に過ぎぬものがある。此等は購買組合よりも販賣組合の場合によくあることであるが、其數の如何を問はず彼等不取引組合員の存在することは一つの缺點たることを失はぬ。彼等は配當は取るが取引はしないのである。數組合はそれ等組合員の數を少くし、取引組合員とならしめやうと努めた。其努力は全く正しいものと云はねばならぬ。

非組合員取引者の組合引入及び組合員の組合に對する忠實の度の増加と云ふことは、完全なる全國的サービスへの發展途上に於て購買組合のさし迫つた課題である。新組合の組織と云ふことは既述の（協同組合の砂漠地帯に於ける場合）二つの場合に於ける外は確かに好ましい手段ではない。新しく貯藏所を設けることは必要であるかも知れぬ。そして恐らく或場合に於ては遠隔地に於ける組合員の關心を喚起するために地方委員を設け

ることは必要であるかも知れぬ。然し新組合を設けることは現在のおよかましい組合重複の問題を増すのみである。或る程度まで限界協約は既に隣接組合間に存在して居るが、此等協約は双方がおよそ同様の勢力であるのでなければ維持することは非常に困難である。有力にして進歩的なる組合に、微力にして衰滅しかつて居る組合が現在或ひは管て占めて居た地域を尊重せよと強ひることは困難であるのみならず好ましくからざることである。聯合會主義の理論が實行に當つて失敗したため、大組合は一洲又は數州に渡つて活動し、理論的には大組合を通して買ふ可きであるが、實際的には買はぬ所の色々の小組合の土地に侵入して勢力を伸張して居るのである。大組合の併合に對する唯一の一般的反對は集中されたる一般的機關に依つて地方的利益が失はれると云ふことである。此は疑ひなきを得ない。英國農村協同組合は未だかつて他國に於て鼓吹されて居る様な家庭的兄弟的感情を生まなかつた。それがため、たとへ組合員の或るものからは幾分遠くあつても強大なそして成功した組合は、その微弱なことを組合員があまりにも良く知つて居るやうな小さい苦境の組合よりも、より以上に組合員の忠實を得易いやうで

ある。併合に對する眞の困難は小組合が素早く自己の不成功を認めて大組合への併合を希望する時機を失はないやうにすることを忘れて居ると云ふことではなくて、それ等小組合の或るものは全く大組合に於て承繼するだけの價值がないと云ふことである。けれどもこれは如何なる場合に於てもさうであるのではない。こう云ふ風な併合に依る合理化が實行し得た多くの實例があるのである。又一方、彼等の状態によく適合し何等重複の問題の起きない所の小組合があると云ふことを認められねばならぬ。然しその様な小組合は極く少数である。合併の望ましいことは既に與へられた數字に依つて明らかである。一般的に大組合は小組合より、より以上に經濟的であり能率的である。大組合の一組合員當り賣上高は小組合のそれよりも大であり、經營費は低いし、それ等のサービスはより以上に行き届いて居る。大組合の價格水準ははつきりと云ふことは困難であるが理論上と同様に事實上に於ても大組合は小組合よりも一層價格引下げに成功して居るのである。多くの小組合は一人の大農業者よりはやく大なる程度の規模に於て購入するのである。であるからしてそれ等小組合は卸賣相場の利益を殆んど受けない。彼等は

仕入先に對しては現金支拂ひを強制されるが一方彼等は其組合員に對しては信用を與へねばならぬと云ふ負擔を背負はせられて居るのである。その上彼等の財政力は非常に微弱なのである。

尙ほ大規模經營への傾向は何等こと新らしいものではない。

組合の大ききは堅實に發展して來て居る。一九一四年以前には年額百磅以下の賣上高を有する小組合が相當あつたが、今日では辛うじて一つあるだけである。一九二三年以來比較的大なる賣上を有する各種の組合が増加したと同時に小額賣上の組合は減少して來た。

第十節 消費組合との競争

重複と云ふことに關する次の局面は時々起る消費組合との競争である。之れは購買組合間に於ける如く地域の限界設定に依つて解決されることは出來ぬ。謂んや合併、併吞等に依り解決され得ないのは勿論である。然し唯一つ職能の限界設定に依つてのみ解決され得るのである。既に示された様に、實際にイングラントに於ては一般家庭用品を取扱つて居る所の農村購買組合の数は大したものではない。農村購買組合に依つて相當の量

に取扱はれて居る家庭用品と云つては唯石炭だけである。消費組合が小賣で配給して居るのに農村購買組合は卸値で賣つて居ると云ふことが消費組合の側からのかねての不平である。然しこの事は農業者の組合の一般販賣政策に依つてのみならず、農業者は實際に卸賣可能量だけ石炭を買ひ、少なくとも一部は製造原料として買ふのであると云ふ事實をよく考へて見ると、或程度まで正當なものであることが納得が行くのである。けれども此の石炭問題は全體農業者の組合と消費組合とが相接して存在し、同時に組合員數をも張合つて居る所の北部に於ける都市地方に限定されて居る。此の石炭問題は農村購買組合の攻勢に對する制限の問題である。所が消費組合の農村組合に對する攻勢の問題としては次の如きものがある。消費組合は相當の量の家禽用の飼料を賣つて居る。それは組合員の多くのものが農業はやつて居ないが家禽を飼育して居るので無理もないことであらうが、彼等は又普通の飼料をも賣つて居るのである。特に製粉所を所有し大量の製粉屑を處分せねばならぬ場合に於ては、尙ほ若し農業者が消費組合の組合員となるならば彼等は消費組合から自己の農業必需品の購買に對して高い配當を殆んど

農業購買組合の競ふことの出来ぬ程の高い配當を得ることが出来るのである。實際困難な問題ではあるが此の兩者の競争の問題は廣く行き渡つては居ないのである。今一度云ふが、殆んど前述の工業地帯に限られて居るのである。

第十一節 財政政策

資本投下の問題には種々の組合のグループを要約する場合に於て又組合員の問題と關聯して既に觸れて置いた。大概の組合に於ては最小限度出資額は全組合員のために定めてある。そして協同組合法 (Industrial and Provident Societies Act) に依つて最高限は二百磅に制限されて居る。極く少數の組合は最小限出資額を耕作段別に基いて決定して居るが、出資額と個人取引高とを關聯せしめて最小限を定める方法は決して採られなかつた。資本一磅に對する賣上高は何のグループの組合も殆んど差がないことは既に表示してある。このことからして組合の働きと組合の資本とが良く釣合の取れて居ることが分る。然し大組合に於ては組合員當りの資本の増加の本體はそれが適當に賣上の増加と同様にサービスの改良に役立つやうにすると云

ふことである。之に關しては次の事は注目の價值あることである。即ち、小組合の或るものは相當の資金を政府又は他の債券に投資して置くが、大きなそして活動的な組合は資金を全く彼等自身の仕事の方面に設備や建築物の形式に於てか或ひは流動資金として投資するのである。非組合員との取引と資本需要の關係は既に論じたし、信用と資本の關係も又論及された。農民は長らくの間長期の信用を受けて來て居る。そして殆んど協同組合は此の慣習を打破することに失敗して來た。此の信用の長期であることは農業の本質に基くのである。都市的農業購買組合の或るものを除く外は平均信用期間は少くとも二ヶ月を許與され、數組合の場合に於ては三ヶ月、小組合に於てはまた長期のものもある。組合は斯の如く常に其現金賣上の六分一或ひは四分一からもの未済貸付金を有して居るのである。此の目的のために組合は常に銀行に依存し、銀行に特權を與へて居るのである。種々のグループの組合の經營費を計算するに當つて此の費用が省略されて居るのである。若し總數が與へられ得るならば次の様なことが分るであらう。即ち組合員の一部は彼等の出費に對して何等かの収入があるまで支拂を延期することが

便利であるために、一部は徒らに遅延をむさぼつて居るために一まともに澤山の金を支拂つて居るのである。或場合に於ては組合は一定期に支拂ひをした者に對して特別配當をするとか、割引をするとかの方法を探つて居る。然し其方法は決して一般に行き渡つて居るものではなく、大概は極く最近始められたのであつて何等特筆す可き結果を生んで居ない。けれどもそれはより一層試練を受く可き價值あるものであつて、一定期後に至つても未だ支拂はれざる全ての勘定に對して一定利子が課せられる所の或る外國の方針と對照され得るものである。

組合の資本の源泉は(出資金、準備金、借入資本)既に述べられたる項目に全部が含まれて居ると云ふわけではない。多くの組合は資本と呼ばれぬ大準備金を持つて居て、たとへそれが直接組合の經營に便益を與へないまでも、組合の地位を強固にするだけの價值はあるのである。全部の組合とまでは行かないけれども大概の組合は彼等の貸借對照表上に、普通の準備金の外に貸倒れ準備金、或ひは他の特別準備金をも記載して居る。多くの場合に於ては此等の數字だけを以てしては尙ほ全體の状態を記録するに充分でないのである。動産のみならず土地、建物、設備

を非常に過度に減價銷却することは協同組合法に依る組合の習慣である。斯くの如く屢々評價することの困難な準備金があるのである。之は特に大組合の場合である。小組合に於ては減價銷却す可き財産が少ないのであつて、大部分の準備金は公債に投資される傾向がある。

第十二節 經營と支配

組合の經營方法は既に示された。それ等は色々の點に於て段々と營利商人の方法に接近して行つて居る。コストプラス(Cost-plus method) (配給價格を原價プラス經營費とする方法)方法は殆んど廢止されて市場價格販賣方法が採用されて居る。それに對する唯一の例外は委託方法を採り半任意的に經營して居る小組合の或ものと、大組合であつても組織的な價格引下げを企てそれ等の地域の市場價格を左右することの可能な地位にある組合とに限られて居る。組合の豫定仕入れには或る程度の投機性が必然的に含まれて居る。組合員の購買を勧誘することは最初は輕しめて見られるが、大概の場合に於ては消費組合の御用問が勝手口を訪れるのに較べて、決して非協同組合

的なるものでは無く眞のサービスとして認められるのである。組合員から契約を取る方法は、他國に於てはたまたま見られることであるが、イングランドの購買組合に於ては決して行はれなかつた。組合員へ組合が配達することは一、二の地方を除いては一般的となつて居る。そしてそれは組合員に嬉ばれるのみならず、經濟的でもあるものとして認められて居る。唯一の意見の相異は組合が自からの運搬車を所有す可きか、それとも運送店と契約す可きか何うかに關して存して居る。このことは又組合が二、三の運搬車を遊ばせないで充分使ひこなせるか、それとも車を遊ばせるばかりであつて運送を仕事として居る商人に委託した方が望ましいことであるか何うかに依つて定まるのである。他の仕事の外に此の運送の仕事を行つて居る組合がポツリ／＼あるが、これは明らかに唯特別事情のある比較的小組合が採つたのである。

組合經營の支配の問題について幾分批判せねばならぬ。農業協同組合には傳統的に二つの苦情の種がくつゝいて離れぬのである。第一は適當なる支配人を得ることが困難なること。第二は適當なる給料を提供しないことである。此等二つの事情は恐

らく見掛程には絶對的に相倚り相扶けて居るものではない。支配人を求め得られる階級は五ある。

(一)農民 多くの小組合は自己の時間を一部分割いて組合の經營に當つて居る所の農民に依つて支配されて居る。これは組合が餘暇的な、そして素人の經營に適當して居る程の小規模に甘んじて居るならば免も角、そうでなかつたならば此は一時的な便宜的なものであるに過ぎない。勿論或る場合に於ては、最初農民として出發し後になつて自己の天職は協同組合經營の専任の支配にあることを發見するもの無きにしてもあらずである。

(二)競賣人、法律家、教師、其他の農村智的職業者。此等は購買組合よりは寧ろ販賣組合の、特に季節的な組合の、支配人として屢々發見される。前者(競賣人)の場合に於ては幾分違つた考慮が持たれるが後者に對しては(一)の場合にあげられた反對が同様にあてはまる。

(三)營利的食料品商人、或ひはその従業員。購買組合の非常に大多數は彼等の支配人を此の階級から採つた。時としては完全に成功して居るのである。だが、營利的事業に訓練された人は協同組合組織の特殊の事情の眞價を知らなかつたり、或ひは

協同組合の特殊事情から起る機會を利用することに失敗する等の問題が残る。加ふるに切破つまつて協同組合に引取られるやうな人には最も立派な有能な商人は居ないと云ふことが考へられる。

(四)消費組合に於て訓練された支配人。此階級から支配人を得ることに依つて非常に満足なる結果を得た。そして現に得つつあるのである。其訓練は一般の仕事並びに専門的な協同組合方面の仕事の兩方面に常に適合して居る。唯其困難な點は其見地が時としては都市的であつて、農村の慣習に適應せる手段が必要となつて來ることである。

(五)他の農村組合に於て訓練された支配人。其運動はこゝ三十年程の間、積極的に働きかけられて來た。そして其の爲の専門的團體を遂に作り上げた。大きなとして澤山の職員が居る組合の多くは支配人の養成所となつた。大組合から小組合、新組合へ支配人を送るのである。此れが支配人獲得の最良の途である。不十分なる給料を提供するのは大概小組合であつて、此の小組合の減少と共にこのことの非難も漸次なくなりつつある。如何に有能なる經營技術を以てしても大組合を充分に支配するこ

とは出来ぬとする考へは今日では全く根據のないことであることが分つて居る。大組合は小組合が素人の不十分なサービスに對して支拂ふよりは比較的少ない経費で立派な適任者を雇ひ得るのである。職員對組合の關係について今一つ重要な點は從業員に對して餘剰から支拂はれるボーナスの供給である。普通は餘剰の全額の五%に及んで居る。大部分は小組合のことであるが、或る組合は不正支配人に憚んだのである。然しこれは全體的には極く稀であつて委員會が常に自から充分に不正に對する防衛をはかつて居るのである。總ての大組合に於ては支配人は多大の責任を負はされて居り、相當に指導的役目をすることを要求されて居る。委員は決して重要でないものではない。小組合に於ては委員の直接の責任は相當に大である。理事者になると金と暇の相當かゝる大組合の場合に於てのみ理事に對して給料を支拂ふのは當然のことであるが、大概の組合は理事に對して給料を支拂はぬのである。

第十三節 購買組合の職能

〔特に穀物販賣取扱ひに就いて〕

購買組合の正規の職能については他に於て既に詳細に述べられて居る。購買組合は機械を除き、あらゆる部門に渡つて、農民に對して全く完全なる供給者となることに成功したことが覗はれる。けれども必需品の配給と農産物出荷とを結合させることは尙ほ試練を要する重大問題である。組合員の穀物の處理にした所が、腐敗性のもので、出荷にした所が、何れにしても其實

行は必然的に購買組合經營の上に苦勞の種を増し、組合の組織の高度化を必要として來るのである。購買組合が農産物販賣を兼營する場合に於て組合對組合員の間に受取る勘定と支拂ふ勘定との相互的勘定が存在することによつて組合員の負債の不支拂に對する正當なる防衛となる利益があるのである。此の兼營に於て唯一の缺點とも見られることは購買事業の勘定が販賣部門或ひはミルク取扱ひの勘定と一所にされて、一の利益が他の損失の穴埋めに使用され易いと云ふことである。けれども購買組合の穀物取扱ひをよく考察して見ると、穀物に關する限りでは、此の非難は最初考へられる程の事はないのである。

イングランドに穀物販賣の目的のために専門的に組織された協同組合が全然存在しないことは、若しそれが農業者に依つて

穀物處理の方法が見出され得なかつたことを暗示するのであるならば誤つたものと云はねばならぬ。一般購買組合の農産物取扱について研究すれば、それ等は小麦其他の穀物の地方的取扱ひをはかつて居るのであることが分る。けれども其穀物取扱ひは又二つの異つた題目に分れるのである。

(一)購買組合の一般必需品の一部として組合員から穀物が買ひ取られること。即ち組合員に賣られるのである。

(二)外部へ販賣のために組合員から穀物を受取ること。

組合員の必需品の大項目は飼料である。そしてそれが出來得る限り地方的に買はれる可きであること、従つて組合員から買はる可きであることは當然の事である。澤山の購買組合は組合員の生産穀物を彼等自身の必需品としてではなくそれを市場へ出荷するために引取つて居るのである。即ち販賣組合的機關として活動して居るのである。此の場合に於てその農産物の販賣取扱ひはむしろ購買組合經營から起る自發的發展であつて、組合の採用した一定の政策から起つたものではない。

イングランドに於て約六十の購買組合はそれ等の穀物の全部或ひは一部を地方的に買つて居る。之は協同組合的販賣のため

ではない。若し其經營過程が(一)に限定されて居り、地方的購買者たる被自身の組合と組合員たる農民との私的取引以外の何物でもないならば何等販賣組合的作用は含まれて居ないのである。他の必需品の購入と同様に此の穀物の組合員からの地方的購入によつて購買組合の受ける利益は規則通りに組合員の購買高に應ずる配當或ひは配給價格の引下げとして組合員の手に歸するのである。組合に對する穀物供給者への配當の問題は殆んど起つて居ないのである。此の供給者への配當と云ふことは購買組合の組合員に對して利益を一般に公平に分つと云ふことに反するのである。此れを解決する唯一の途は組合の穀物の購入及販賣の勘定を別に計算し、そして製粉其他の費用を差引いて残つた利益を供給高に應じて生産者に配分することである。現在の所、供給者は斯の如き行届いた保護の必要を感じて居ないやうである。何となれば、穀物供給者の經濟的地位は自己の組合の組合員は全部自分と同様に穀物の生産者であると云ふ齊一性に依つて保護されて居るから、けれども組合の經營過程が(二)にまで實行されるに至ると組合は全く異つた職能(購買組合が販賣組合の職能をも行ふことになるから)を實行しつゝ、

あることになるのである。そして受けた利益或ひは蒙つた損失は組合の他(購買事業のこと)の仕事と混同されることは好ましくないこととなる。こうなると組合は組合員の必需品をも早く買入れて居るのではなくして、組合員の利益を増さうとして、或ひは組合員に對する奉仕として商的危険を負擔して相互扶助的に穀物を出荷して居るのである。之のことは今日充分の解明を要する所の事柄である。そして其結果は協同組合的穀物販賣を全國的な規模にまで發展さして行かうとする試みが強調されるであらう。

第十四節 農村購買組合に於ける卸賣組合の地位

系統的な取引のための聯合の問題は農村協同組合の歴史を紹介した時に觸れて置いた。其際地方的聯合會の試みとか、種々の中央機關の經歷、そして最後には農業卸賣聯合會の經歷が述べられたのである。聯合會が利益を興へると云ふことは明白なことであり、且つ又充分認められて居ることなのである。そして協同組合の發展して居る大概の國に於ては此の聯合會制度は

實行されて居る。ところがイングラントに於ては既に失敗の記録が記されて居るのであつて、少くとも現在の様な状態の下に於ては如何なる特殊の農業卸賣聯合も再び設立されることは覺東ないやうに見受けられるのである。現在存するものとしては卸賣組合 (Co-operative Wholesale Society) がある。これは元々消費組合運動の中央機關なのである。現在イングラントに於ては五十四の農村購買組合が卸賣組合の組合員となり、各々の組合員數に比例して出資して居る。之に加ふるに他に二十九の組合が組合員ではなくして卸賣組合と取引して居る。尙ほ卸賣組合はウェールズに約四十の農村購買組合を組合員として持つて居る。イングラントの農業協同組合の購入總高の少くとも四分一は卸賣組合から購入して居ると云ふことが評價されて居る。卸賣組合が農村購買組合のための卸賣機關として活動したと云ふ要求は斯くの如く強大なものである。卸賣組合はイングラントに於て最大の製粉所を有し、年々巨大なる額の製粉粉を産出し、それ等は飼料として賣られて居るのである。又卸賣組合は石炭をも取扱ひ、大規模に油糟を製造し、荷造り紐を作し、そして近年は前記の品物に加ふるに種子、肥料を賣る特別

の農業部門を發達せしめた。卸賣組合は農業者や農業者の組合から他の品物と同時に穀物の大量を買つて居る。斯く卸賣組合は農村協同組合の間に確固たる地位を築き、適當に資本を投下して居るのである。卸賣組合から必需品を購入する農村購買組合は若しそれが卸賣組合の組合員となつて居るならば全購買高に對して充分なる配當を享受することが出來、若し組合員でなくとも購買高の半分に對しては配當を受けることが出来るのである。農業者の組合の中央卸賣機關としての卸賣組合に對する主なる反對は次のやうである、即ち「ウェールズ其他領地を含む農村購買組合の總數は卸賣組合の全組合員の十%を出でない。そして同組合の全販賣高の十%よりはすつと以下の取引高をしか有しない。(恐らく二%を越えぬだらう。)」と云ふことである。その故に農村購買組合は自己の中央機關の場合のやうに卸賣組合の政策を左右する地位に居ないのである。だが同時に二つの事實に心を留めなければならぬ。先づ第一には購買組合は消費者の資格に於ける農民の組合であつて生産者の資格に於てではない。此の見解からして農村購買組合の利害は彼等の同僚たる消費組合の利害と決して衝突しないのである。此の

状態に對する唯一の例外は農業消費用品が家庭消費用品の副産物である場合には（例へば製粉屑と小麦粉の關係）後者の價格が或る程度まで前者の價格を決定すると云ふことである。第二には農業購買組合の購入は卸賣組合の農業部門を獨占して居るのであつて、たとへ彼等の表決權は總會に於て大した勢力を持たなくとも、彼等が買ふ權利を持つて居るのであつて、若し不満足なものであるならば、他から購入する自由を有することは卸賣組合に對して何等かの影響を與へずには置かないのである。

此の弱勢力を以てしては、農村購買組合の採る可き最良の途は卸賣組合のサービスを出来るだけ充分に利用し、そして出資して、組合員としての權利を行使して、農業者の要求をより充分にかなへることが如何に適當なことであるかを指示することである。農業卸賣聯合會の倒潰に因つて危險に瀕した一、二の組合に對して卸賣組合が與へた所の金融的、後見的助力は既に組合史の章に於て述べられ、又それ等の組合について詳説した場合にも述べた。卸賣組合と取引をして居る上に、數個の農村購買組合は消費組合と同様に卸賣組合の職員の會計検査を

受けて居るのである。又農村購買組合の數組合は彼等の準備金を卸賣組合に投資して居る。大部分の農村購買組合は協同保險組合の代理店として活動して居るのである。

第四章 ミルク及び酪農販賣組合

酪農生産品は家畜についてイングランドの最も重要な農産物である。そしてそれ等が協合組的に販賣された最初のものであつた。最も早く出来た協同組合組織の殆んど全部は既に其影を没し去つて居る。それ等販賣組合が六十年前に現はれて以來其産業自體は著しい變化を受けて來たのである。一八七〇年には酪農業者が都離れた邊境の地に存在してバターやチーズで生計を立てて居たが、都會近郊に於ては製造小賣業者が獨り繁榮を誇つて居た。其當時に於てすら既に輸入チーズの壓迫が感ぜ初められて居り、其結果は最初期のチーズ製造協同組合の發生の動機ともなつた。此の競争は爾來激化されて來たのである。そして尙ほイングランドに於ては工場制度の下に盛にチーズやバターが製造されて居るのである。之に反して過去二十年の間、特に歐洲大戰争後液體のまゝの牛乳販賣が層一層と優勢となつて來て、大都市の大部分に於てはミルク卸賣商が製造小賣商にとつて代つた。イングランドの全ミルク生産高の約十二%は製造されて居るが其バターやチーズの價格は輸入品の壓

迫に依つて比較的儲けにならぬ値段に定められて居るのである。之に反してミルクの價格は相當高いのである。其理由は少くとも一部分は英國農業者が外部に對して閉鎖された獨占的ミルク市場を有して居ること、他は、後にも論ぜられるが、或期間集團的取引の巧妙な方法で以て活動して居たことである。

此の状態の結果はミルクの需要額を超過した部分のミルクの全部は餘剰ミルクと考へられて居る。此の餘剰は自然夏季には最も大である。尤も近年は冬季にも餘剰が現はれるやうになつて來た。此の餘剰の所持並びに處理をめぐつてミルク取引の多くの努力が現在なされて居るのである。同時に液體ミルクの生産高は需要の増加よりも急速に増加しつゝあり、従つて餘剰の開きは益々擴大するばかりであると云ふことが一般に印象づけられて居る。

チーズやバター工場(協同組合的工場)は大抵早期に設立されたものである。現存して居る最古の工場は一九〇三年に組織されたものである。けれども其後も殆んど現在までチーズ工場はポツ／＼組織されて來た。そして最後に出來たのが一九二五年の餘剰ミルクのみを取扱ふ組合の小群である。

此等組合の状況を一層詳細に調べるには前に述べた職能の相異に依つて組合を分類する方法が最も適當である。けれども完全なる分類が不可能なる所の數個の中間的存在の組合がある。

(一)一九二九年には六、〇九九人の組合員を有する三十六の酪農販賣組合と酪農生産品を取扱ふ所の三つの一般的販賣組合があつて、それ等の賣上總額は一、一四四、〇六四磅となつて居る。此等の中八十%は十二の酪農販賣組合とミルク卸賣の仕事をして居る二つの一般的販賣組合に依つて保たれて居るのである。三つは一九一二年に形成せられた一つは一九一四年に出来た。然し残りは大戰の後期或ひは大戰の直後に出来た。戰時食料統制時代に政府の採つた卸賣免許制はそれ等の組織に影響を保持した。此等組合の大部分は組合員からミルクを集め殺菌し、冷却して都市の大規模小賣商、特に消費組合へ送達するのである。餘剩ミルクがあれば彼等は之をチーズにし、或ひは時としてバターにも製造する。之は概して、特に儲かると云ふ譯ではないが、そうすることに依つて常に損失を避けることが出来、且つ餘剩ミルクをして牛乳市場を擾亂せしめないやうにすることが出来る。其グループの中の二

組合と一般販賣組合の中の一つは又彼等の供給物の大部分を小賣しても居るのである。一組合は單に周旋所としてのみ活動して居る。即ち販賣を取り定め支拂を受取りそれを分配するのであるが、何等ミルクの現物の取扱ひをしないし、餘剩ミルクの精製は勿論しない。一つは一般的組合もやはり同様の計畫を承繼して居るが、ミルクを集めて買手へ鐵道便で送るだけのことはするのである。此の場合に於ける買手とは小賣商ではなくして酪農聯合會(United Dairies)である。一組合は又A・T・T級のミルクを生地のまゝで賣つて居る。そして唯蒐集と送達とだけをするのである。其組合は何等工場を有しては居ないが時々餘剩ミルクをチーズに改變するために取り定めをするのである。一、二の組合は便宜上ミルクを外部から少量臨時的に買つて居るが、正規に非組合員からのミルクを受けて居るのは此等組合の中で唯一つあるだけである。二組合は少くとも組合員數の二倍の非組合員供給者を持つて居ると云ふことが知られて居る。他の組合についてははつきりした數字は分らぬが、數組合の場合に於ては非組合員供給者の數は著しく組合員數を越えて居ると云ふことは信ぜられる。一組合はその組合員の全部のミルク

クを受取る永久の契約を有して居て組合員は外部に賣ることを禁ぜられて居る。二組合は全ミルク買上げの年々の契約を有し、四組合は全國農業者同盟の模範規則に基いて一定量受取りの年々の契約を有して居る。殘餘の組合は非取引組合員が多數である場合を除いては全組合員のミルクを受取り、且つ組合員の忠實を受く可き一般的協定を有して居るやうである。供給を受ける地域は通常非常に大であつて時としては半州の購買組合のそれに匹敵するものがある。次の平均數字は此等組合の代表的組合について或る概念を興へるであらう。

組合員數	出資額	準備金	借入資本	賣上高
三三五	九、八五四磅	二、二九一磅	四、七三四磅	七一、九四二磅

一組合を除く全組合は準備金を有して居るが、三組合の場合に於てのみそれ等は比較的大である。一組合に於ては準備金は出資金よりも大なのである。借入資本は殆んど三分二まで銀行の當座貸越から成つて居る。然し借入資本の使用は一定數の組合に限られて居て、五組合は全然借入資本なくして經營して居

る。此のグループの組合の中で最高の賣上は一三〇、三二九磅で最小のものは二七、〇二九磅である。尙ほ更に他の平均數字を示せば。

一組合員當り	一組合員當り	一組合員當り	一組合員當り	一組合員當り
常賣上高	出資額	全資本額	賣上高	資本上高
二一四磅	二九磅	五〇磅	七・三磅	四・二磅

一組合員當りの賣上は、一供給者當り二、二八四磅の賣上ある組合から一組合員當り八二磅しかない組合の間の差異を平均したのであるから眞に標準的なものであると云ふ譯には行かぬ。恐らく約二七五磅の數字がより眞の平均に近いものであらう。然しイングランド南部のツベルクリン注射をした大群を有する専門的酪農業者と他の仕事の内職として一、二匹の牛を飼つて居るノーザムバランドの山谷の住民とのミルク生産には必然的に廣い相異がある。一組合員當り資本投下額は同じ大きさの他種類の組合に比して非常に高くある。然し賣上に對する資本の割合は比較的に低くある。此等組合の中で南西部組合の殆んど全部とも云ふ可き九組合は彼等の生産物の全部或は大部分をロ

ンドン市場へ賣出して居る。ランカシアに本部のある二組合は其州内で賣り、ダービシヤア組合はダービーへ賣り、シユロップシヤアの一組合はミドランド市場へ賣り、ノーザムバランドの一組合はタインサイド(Tyneside)工業地帯へ賣つて居る。ミルク生産高の三分の二はロンドン市場へ行き、ミドランド北部市場は極く僅少である。ヨークシヤアへの販賣は殆んど無視されて居ると云つて良い。經營費の平均は七・八%であるが然しこれもピンからキリまであつて二%の組合もあれば十八%十九%からの組合もある。此等の高い数字の經營費を要する組合は相當の精製を行ふ組合とか一定量の小賣を行ふ組合である。普通一般の經營費は六%或ひはやゝそれ以下と見て良い。大概の場合に於て組合はミルクの蒐集を行ふが或るものは組合員が自から自己のミルクを貯蔵所まで持つて行くのである。二組合は損失をしたが、その一組合は尙ほ出資に對して六%の利子を支拂ふことを止めて居ない。残りの組合は餘剰をあげ大部分は出資に對して五%の利子を支拂つて居る。同時に一組合はミルク供給高に應じて配當をし、他の一組合は配當に代へて出資株を與へた。残り二組合の中で一組合は餘剰を繰越損失を填

ミルク及び酪農販賣組合

補するために使用し、今一つの組合は消費者に對して配當をした。此の消費者の中には小賣に對する顧客も含まれて居る。此のグループの中で數組合は近年に至つて進歩したが他のものは賣上に於て或る程度下落を示して居る。

(二)主たる仕事としてミルクの小賣に従事して居る組合はたつた三つあるのみである。全部小地域に活動し、そして全く強い特徴を持つて居て一括して敘述することは困難である。従つて平均數字を示すよりも、總額の數字を示す方が一層便利であらう。

三組合總額表

組合數	組合員數	非組合員供給者數	出資額	準備金	借入資本	賣上高
三	1001	115	£1,150,000	£1,150,000	£1,100,000	£1,650,000

此の賣上の大部は一組合によつて爲されてゐる。即ちハーベンデン(Harpenden)の組合であつて、其組合は郊外住宅地に高級ミルクを小賣することを専門的に行つて居て、非常に急速に進歩したのである。一組合はカテリツク陸軍兵營へミルクを

立後長年を経過して居り、第一に設立されたのは一九〇三年であつて最後に設立されたのは一九二八年である。全く活動地域は局限せられて居り、通常一村単位である。次の平均数字は其グループの組合の概念を與へるに充分役立つであらうと思ふ。

組合員數	出資額	準備金	借入資本	賣上高
四四	九六九磅	三九八磅	八〇四磅	九八二九磅

二組合のみは組合員からの借入資本を有して居るが、五組合はチーズのストックを保持するために銀行から當座貸越を得て居る。二組合は全然出資或ひは準備金の自己資本のみにて賄はれて居る。賣上高は著しく變動があり必ずしも組合員數に比例しては居ない。最大は二三、四七四磅から最小五、一一七磅である。全部ではないが、多くの組合は近年賣上の減少を示してゐる。大部分の組合は永久の或ひは年々の契約で以て彼等の組合員のミルクを全部受取ることにして居る。組合に對する忠實の度は普通である。大概の場合に於て全組合員は供給者であるが一、二の例外がある。非組合員からは全然ミルクを受取らない

ミルク及び酪農販賣組合

他の平均は次のやうである。

一組合員 賣上高	一組合員當り 出資高	一組合員當り 全資本高	一組合員當り 出資一磅當り 賣上高	一組合員當り 資本一磅當り 賣上高
二二五磅	二二磅	四八磅	一〇磅	四五磅

一組合員當り賣上高が他の酪農販賣組合のそれよりも小であることが目につく。其理由とする所は先づ第一に組合は全て主として小農者と取引して居ること、第二には組合員は酪農業のみに依存して居るわけではないことである。出資は他の形式の資本よりは少い。然し出資と準備金とを合計した自己資本は相當に借入資本を凌駕して居る。出資一磅に對する賣上額は相當額に達して居る。經營費は平均八・七%であつて、二%から十五%に及んで居る。大概の場合に於て組合員は自己のミルクを貯蔵所へ持つて行く。四組合は損失をしたが、其中の一組合は尙ほ配當を支拂つて居る。三組合は出資に對して各々五%、六%、十%の利子を支拂つた。其中一組合は一磅につき八片の配當をしたのである。

此等の組合に加ふるに一つ大なる一般的販賣組合が組合員生

産のランカシア、チーズの販賣を爲し其額は約三三、〇〇〇磅であつて大規模小賣商特に大部分は消費組合に對して販賣せらるるのである。バター製造の組合が唯一つイングランドに存在して居る。其組合はコーンウォール(Cornwall)に在り、約三二、〇〇〇磅の賣上をしてゐる。相當大規模であつてチーズ組合よりは大であるがミルクを卸賣する酪農販賣組合の平均よりは小である。

(四)今一つのグループの酪農組合は九組合からなり、それ等組合は組合員生産のミルクの全額を取扱ふのではなくて、餘剰ミルクのために利益のある或ひは少くとも損のゆかない賣れ口を見つけ、ミルクのために適當な價格を維持せんとすることに仕事を限定して居る。計畫的に此の仕事のみを行ふのではなくて、むしろ他の仕事が消滅したことに因つて自然此の仕事のみを経営して居る組合が一つあるが、此の組合も之のグループの中に入れられる。此等の組合の中で最も成功して居るのはバラウ(Barrow)の組合であつて、其組合は地方的ミルク賣買機關と聯絡をとつて、其機關と同じ地域の上に活動し、兩者は(組合と賣買機關)互ひに手を取つて完全に生産されるミルクの統制

をして居るのである。其地域は地理的に殆んど孤立的な状態にある。其組合は一年中小規模に活動し組合員が進んで提出するミルクを受取つてミルク販賣の取定めをし、或ひはチーズを作り、バターを作り、或ひは豚をも飼ふのである。利益は些少であつて或年に於ては莫大な損失をしたが經驗上から見てミルク販賣の價格維持の效果があることが分つて居るので依然として存在する價値があるのである。之のグループの組合の大部分はロンドンにミルクの供給をする地域たるイングランド南部地方に凡そ一九二五年頃設立されたのであつて、即ち其年の全國農業者同盟(National Farmers' Union)の價格制定運動を動機として設立されたのである。それ等組合の必要は想像された程のものでもなかつたし、それに又それ等組合は大いに熱心に經營もされなかつたのである。それ等組合の何れも夏季の餘剰からチーズを製造するために如何なる年も二、三週間以上も働いたことはないのである。それ等の中一組合は一九二九年には全然經營しなかつた。バラウの組合の例外はあるが全て此等組合は仕事の成績に於てよりも、むしろ彼等の趣意に於て賞讃すべきものがあると云はねばならぬ。此等組合の状態をより明らかに

するために二、三の平均數字を示す。

一組合當り平均數

組合員數	出資額	賣上高
一三四 <small>磅</small>	一、八七九 <small>磅</small>	二、五九二 <small>磅</small>

バラウを除外すれば平均賣上額は半減される。そして實際に於ては出資額以下に低下するのである。一組合は組合員に對するよりは安い値段で一定量の非組合員のミルクを受取つて居るそうである。然し之は一般的には實行されて居ない。バラウは比較的に小額の銀行の當座貸越を持つてゐる。そして其相棒たる小機關は五十磅の借入資本を有して居る。之等の組合は何れも準備金を持つて居ない。五組合は一九二九年には小利益があつたが、全部出資に對して利子を支拂はず、勿論配當はしなかつたやうである。經營費は良くは分らぬが一小组合に於ては經營費は十八%から要して居る。バラウは其額の半分に過ぎないが、それでも未だ幾分高いと云はねばならぬ。一組合員當り出費は約十四磅であつて、一組合員當り賣上はバラウを入れても

ミルク及び酪農販賣組合

やつと二十磅になるくらいである。

酪農販賣組合の一般的進歩や状態について一、二の觀察をしよう。酪農販賣組合の數は數個の新組合の組織されたにも拘はらず最近五ヶ年の中に二十%以上減少した。此の減少やそれに先んじた他の失敗などは何に原因するか正確に言ふことは困難である。恐らく酪農業の狀態の變化及び農民が自から手に入れることの出来る液體のまゝの牛乳の價格と大概の協同組合が従事して居る製造品の價格との間に於ける開きが主なる原因であらう。けれども賣上はたつた五%位しか下落しなかつた。このことは、減少の三分一以上はミルクを取扱つて居たがそれを廢止した一購買組合に負ふのであるからして、大體健全なる徵候であると云ひ得る。新組合は餘剩處理のためにのみ存在して居るのであるからして一九二九年の賣上には殆んど貢獻する所がないのであることも亦記憶されねばならぬ。このことは大體として組合は其數に於ては減少したが組合の一九二四年の状態よりもより強大となつて居ると云ふことを意味して居る。組合平均賣上額も組合員當り賣上も共に増加したのである。此等組合は購買組合と比較する時は尙ほ比較的小であるが之はミルクの

運送の問題や物質的性質に大いに負ふのである。酪農組合は其地域内に於ては購買組合よりも概してより大なる支持を得て居る。一定地域内の農民の九十%或ひは百分が組合員となつて居るのである。組合員の忠實の度も亦概して良好である。其性質の異なる所の餘剩處理の組合を除外して、半分以上の組合は組合員のミルクの同部或ひは一定量を受取ることに於て永久的の或ひは年定めの契約をして居るのである。此契約について法律的強制は殆んどして居ないが、二、三の組合は組合員の不忠實をかこつて居る。不取引組合員の多數居る所の一、二の組合に於ける外は、何等契約をして居ない組合に於ても忠實の度は一般的に良好なのである。之等不取引組合員は農業者の親戚とか地主等であつて單なる投資者であるに過ぎない、然し彼等はい不忠實が慢性的となつて居て忠實と云ふことが全く考慮されて居ない組合員である。斯くの如き人々が大農業者であつて、彼等が協同組合よりも自分でやる方がより良き取引をすることが出来る者へて居る場合には特に之は重大問題である。便宜上ミルクの融通を受ける場合の外は非組合員との取引は一、二の組合に限定されて居る。他の種類の組合と同様に非組合員取引

者を組合員に改變せしめることは望ましいことである。最も成功的な數個の組合の場合に於ては出資額は組合員が持つて居る牛の數に比例して定められる。けれども此の方法は一般的に實行されて居ない。出資と準備金は其總計に於ても個人別に於ても共に大いに他の資本に超過して居る。他人資本は組合員からの借入金と銀行からの借入資本とに殆んど同額に分けられる。

大組合の支配人は充分に適任なる者が選ばれ、充分なる俸給が支拂はれて居る。そして彼は委員の商的经验の缺乏を補ふ可き權威を持つて居るのである。之と關聯して一、二の組合は小賣牛乳商を其委員會に招聘する方法を採つた。

イングランドの協同組合的酪農組合は試験的なものであり、ミルク市場に於けるそれ等の勢力は概して微弱なものであつた。けれどもそれ等は一一つ健全に設立せられ、そして相當の適應力を示して來た。多くの組合は閉鎖したが新登記の組合の健全なる増加があることは事實である。之に反してミルク市場に於ては消費者、小賣商、加工者、生産者の部分に於ける共同動作のための分野が段々大きくなつて居る。前に説明した様

に酪農販賣組合の地位は大人口の中心地へ賣られるミルクに依つて支配されるのである。

一九二二年以來並々な努力が團體的契約の方法に依つてミルク價格を統制するためになされた。永久合同ミルク委員會 (Permanent Joint Milk Committee) は其年に生産者の代表として全國農業者同盟、配給者の爲には全國牛乳商同盟 (National Dairy-men's Federation) が主體となつて設けられ、毎年度に於ける生産者に支拂はれるミルクの價格を定めたのである。同時に團體的契約を有効的ならしめるために全國農業者同盟は全ての州支部に對して覺書を發して其覺書は酪農業者の利益増進と保護のためにインングランド、ウェールズを通じて全國支部に於て統一的方法に依つて活動することを要求して居る。其計畫は各州に於て全國農業者同盟の會員並びに非會員ともに其ミルク生産者を登記して各生産者に依つて飼育されて居る牛の頭數、各夏季の毎週生産高概數、各々の提供する買手其他を表示することを含んで居た。其覺書は又各州支部が永久合同ミルク委員會の商議の決裂の場合に於ける行動について準備することの重要なことを強調して居る。團體的契約の開始以來毎年委員

會の評議は困難を加へて行つた。一九二八年には其商議に於て難關にぶつかつた。數週間もの間にも決裂がありそうに見えたが遂に新聞紙の同情的論調と輿論との味方を得て全國農業者同盟は勝利を得たのである。

斯くの如き年々の成功にも拘はらず競争的値下げが續いて行はれて居た。そして多くの農業者は彼等のミルクに對して少くとも委員會で定められた相場以下の價格を受取つて居たのである。一九二八年—二九年の契約のための商議の時には全國農業者同盟のミルク並に酪農生産委員 (Milk and Dairy Produce Committee) が配給經營に於ける競争的値下を防止するための案を提出した。サー・ウイリアム・プライスも亦永久合同ミルク委員會へ提案した。評議に於て多大の曲折を経た後に全國的計畫が遂に協定された。それに於ては(一)生産者に對しては其計畫に定められた條件の下に於てミルクのための市場を保證されること。(二)配給者に對しては競争的値下げから免れ得ることの利益が與へられた。

此の計畫の下に農民は現在に於ける如く買手と契約するのに自由であつて、其契約のもとに提出される全ミルクに對して統

一値段で支拂はれるのである。此の統制計畫の條件で買手を見付けることの出来ない農民は永久合同ミルク委員會に依つて統制計畫の値段でミルクを受取る配給者や酪農生産物製造所を世話してもらへるのである。舊計畫の下に於ける如く契約は標準

價格の上値二割下値二割を最高最低價格としてそれに基づいて全酪農生産物の賣買を取り定めるのである。尙ほ更に永久合同ミルク委員會基金をこしらへて、夏季に餘剰ミルクを加工する場合に於て、加工者の損失を補償する準備としたいと提案があつた。此の基金は農業者協同者が十月から一月に至る四ヶ月の間に賣買したミルクに對して一ガロンにつき二分一片の割合で隣金されるものである。この基金の一部分はミルクの販賣を増加せしめるためにも使用されるのであつた。生産配給者（生産すると同時に小賣をも行ふ者）は有利なる安定的地位を得た返禮として、彼等に依つて生産され販賣されたミルクに對して一ガロンにつき一片を隣出するのである。新統制計畫の下に於ける全ての契約は登録されるのであり、そして其計畫を實行する全酪農品製造所は同委員會の認可を得、登録を経ねばならぬ。新統制計畫の下に於ける農業者の得る價格は四月—八月は一ガ

ロンにつき一志、二月—三月及び九月—十月は一志四片、十一月—一月は一志五片である。小賣價格は四月—八月は一クォーターが六片、九月—三月は七片となつて居る。

此の合同委員會に依れば「生産者と配給者の間に於ける斯くの如き共同的動作がなければ歸する所は個人的取引の一途であつて、それは兩者の被滅を意味し、必然的に殘忍なる競争を引き起し情け容赦のない値下げを招來するのである」として居る。消費組合運動は此の時まで永久合同ミルク委員會へ代表として参加しなかつたが、イングランド及びウェールズの全配給高の十二%を占める彼等消費組合としては其間彼等自身のミルクの協同の問題を大いに考慮して居た。卸賣組合へ全協同組合ミルク供給の統制を與へる計畫は、自から進んでミルク小賣業務を始めて成功した大組合に依つて必然的に嫌はれた。けれども一九二九年に於けるトウク・メイ會議 (Touque Meeting) に於て大きく一步を踏み出した。其時に於ける決議は卸賣組合 (Co-operative Whole sale Society)、協同組合同盟 (Co-operative Union)、ロンドン協同組合同委員會 (Joint Committee of the London Co-operative Societies)、全國ミルク小賣協同組合聯合

會(National Co-operative Milk Producers' Federation)の代表者
で以て全國協同組合ミルク委員會(National Co-operative Milk
Committee)を組織することであつた。此の委員會は設立された。
そして永久合同ミルク委員會計畫が其委員會に於て如何なる消
費者の代表もなくして小賣價格を制定したことが分つた時には
之の全國協同ミルク委員會が何等かの行動を取るであらうこと
は必然的なことであつた。協同組合委員會が之の永久合同ミル
ク委員會の價格統制を受け入れることを拒絶することは協同組
合的にミルクの取扱ひを行つて居る全部の組合の會議に於て是
認された。其會議は尙ほ同委員會に對して協同組合運動のため
に生産者とミルクの價格について商議し、協同組合運動にかな
つた他の全國的なる價格統制をする權限を與へたのである。全
國協同組合ミルク委員會は全國農業者同盟と接近し、そして全
國農業者同盟は永久合同ミルク委員會協同組合の代表を送るこ
とに同意し、小賣價格の制定を取止め、基金繰出を止めた。
一九二九年十一月から一九三〇年十月に終る年度のミルク價
格取定めの商議が遂に決定して後に、ミルクは現在の契約期間
は三階級に分けて賣買された。第一級は十%、第二級のもの

ミルク及び酪農販賣組合

二十%、第三級のもの五十%の價格の變動を認めた。前の全
國農業者同盟の提案したもの較べて見て、第一級のものに對
する月別價格の唯一の差異は二月に於て一片だけ澤山農民の手
に入るものである。第二級のものに於ては十一月に一片だけ値
が下げられ、第三級のものには三月に四片、一月に一片、五月
に六月に二分一片値下げされて居る。

全國協同組合ミルク委員會は、全國農業者同盟と交渉す可
命ぜられたが、永久合同ミルク委員會の一員となる權限を與へ
られなかつた。之がある紛争の種であつた。永久合同ミルク委
員會の價格取定めを贊同するために招集された會議に起つた所
のより重大なる困難は、或組合が永久合同ミルク委員會で取定
められた價格より良い條件で契約をすることが出来たと云ふこ
とであつた。けれども協同組合委員會は一九二九—三〇年の契
約期間のミルク價格について何等かの取定めをすることが急務
であると云ふ見地からして、其期間の價格取定めに對して更に
厄介にも地域別に取定めることを強制することは不可能である
と云ふ意見を持した。此の意見は遂に大多數の組合に依つて支
持された。

協同組合の見地からしてこうした行動の主たる成果は、協同組合運動がミルク価格を全国的に統制しやうとするに當つて、一要素として割込みに成功したことであつた。一九二九—三〇年の契約價格が決定して後直ぐ、協同組合委員会は全國的協同組合ミルク取扱機關を組織しやうと云ふ大問題を考慮し出した。之に關聯してミルク小賣協同組合聯合會は自己の職能を協同組合同盟へ移轉することに同意することは出来ぬと云ふことを洩らした。けれども地區的代表を基礎として全國ミルク取扱機關を組織すると云ふことが決定された。そして其地區的或ひは地域の委員は其地域のミルク取扱ひに従事せる全部の組合から選舉された者と、卸賣組合の代表者とから成るのである。此の點に於て全國ミルク小賣協同組合聯合會も異論はなかつたのである。更に商議の後、全國委員會が、協同組合同盟、ミルク小賣聯合會 (Co-operative Milk Retailers' Federation) ロンドン協同組合合同委員會、卸賣組合を代議員として、何の程度まで協同組合運動が現在に於て效果的にミルクの取扱ひを爲す可く組織されて居るかを調べ、そして全國的基礎に於けると同時に地區的基礎に於て全國的ミルク取扱機關を完成するため

に必要な手段を報告するために設けられた。何度もの會合の後、一計畫が遂に承け入れられた。即ち、全國協同組合ミルク取引聯合會 (National Co-operative Milk Trade Association) がイングランド、ウェールズに於てミルクの取扱ひに従事して居る、全登録組合並びに協同組合同盟の會員を代表して設立せる可きであるとした。同聯合會は地區に分たれて組織され、其地區は協同組合同盟の現在の地區に一致するのである。之の聯合會は全國實行委員によつて運営されるのである。實行委員は年々選ばれるのであつて、各地區の委員會に依つて任命される一名の代表者、協同組合同盟に依つて任命される二名の代表者、卸賣組合からの二名の代表者から成つて居る。同聯合會の職能は協同組合界のミルク取引に限定され主として後見的、顧問的な性質のものである。聯合會は自己の決定を組合に對して採用することを應めるが、然し組合を拘束す可き力を何等有して居ないのである。

協同組合ミルクの委員會は尙ほ農民や配給者の手に委ねられて居る所の、ミルク賣買のための全國的統一計畫を協同組合の方針にかなふやうに仕向けつゝある。之は永久合同ミルク委員

會の活動範圍よりは廣大なものであつて餘剩ミルクの問題を含んで居る。全國農業者同盟は既に其一般理論に賛成して居ると云ふことが了解される。

斯くの如く、傾向は液體ミルクの價格の全國的安定へ向つて進んで居るのである。そして現在に於ける農民の主なる課題は疑ひもなくあらゆる手段に依つて自己の取引機關を強化することである。現在考究されて居ない問題の一是農民の機關を内容充實したものととして、イカサマ師的な農民を全然組合外に除外することである。今一つは液體、加工の兩ミルクの賣れ口に於ける判明せる關係に基いて、二つの價格を廢して單一の價格にすることに依つて、液體、加工の兩ミルクの間の關係を安固にすることである。第三はミルクの供給を統制することである。協同組合的行為が單なる團體的行為とは異なるものとして重要となるのは此の供給の統制と云ふことである。そして現在の協同組合は其統制の計畫を取上げて來て居る。餘剩ミルクを統制することは危険を作ふものである。そして農業者が此仕事の全部を企てる可しとすることは實際的に不可能であると同時に不必要でもある。資産のある酪農品製造所は既に餘剩ミルクの大量

を處理す可く企て、これに依つて多大の勢力を得て居る。消費組合運動も亦餘剩處理の責任を取るのにやぶさかでないことを示した。そして違つた目的の二つのグループに餘剩處理の責任を分つことは、或る程度まで農民の利益を保護するものであらう。けれども之のみを以てしては農業者を安全なる地位に置くのに充分でない。之の事實は數年前既に述べた所の餘剩ミルク取扱ひの組合が設立された時に實感されたのである。それ等の組合はそれ等の現在の經營方法を以てしては非常に資本がかゝり、そしてそれ等の利用は經營費のかゝるものであつた。餘剩ミルク取扱ひのそれ等組合はそれ自體では價値あるものであつたが然し何等か工夫して、もつと經濟的なものとするのが可能であるやうに思はれる。卸賣的酪農販賣組合は模範的なものである。然もそれ等の數は慎重を保持して、増加してはならぬ、それ等の活動範圍は擴張してはならぬと云ふ理由は何等存在しないやうである。斯くの如き卸賣的酪農販賣組合は經濟的に經營されて居り、眞に協同組合的であること、及び従つてそれ等組合は卸賣組合と同様に消費組合に對する適當なるミルクの卸賣的供給者であると云ふことを消費組合が認めることは相當重

要な問題である。過去に於ては多くの消費組合は斯くの如く農業者の酪農販賣組合と直接に取引したのであるが、然し近年に於ては協同組合の合理化の執行から卸賣組合を通じて買ふ傾向が段々強くなつて來て、農業者の酪農販賣組合は私人との取引に賣れ口を求めねばならなくなつたのである。地理的其他の條件が適當しない場合なら免も角、そうでない場合には斯くの如く取引を斷絶すると云ふことは理由のないことであると云はねばならぬ。謂はんや消費組合の公言せる目的は生産者の協同組合機關と直接に取引することにあるに於てをや。

單なる團體的取引から進んで協同組合的基礎に於ける取引をし、そして餘剰ミルクの統制をも行つて居る重要な例は、西部スコットランドミルク販賣組合 (West of Scotland Milk Agency) である。これは一般にはグラスゴウ・ミルク・プール (Glasgow Milk Pool) として知られて居る。一九二七年早々スコットランド農業組織聯合會 (Scottish Agricultural Organization Society) は價格制定の目的のために、スコットランドの全國農業者同盟 (National Farmers' Union of Scotland) と農村製酪協同組合 (Farmers' Co-operative Creameries) との合同委員會を設

けた。そしてミルクを實際取扱はなくて年々の價格を商議し、それに基く契約を登記するだけのミルク販賣周旋所を設けることが同意された。其年の終りまでには十四の製酪所と一日に四萬ガロン以上の供給を保證する所の一、二〇〇の個人生産者とが其計畫に参加した。そして間もなく其地域内のミルク生産者の約八十%はこれに参加し、三ヶ年の供給契約と各々一磅株一口を出資した。其周旋所は經營費を補ひ且つ自己の基金を建てるために一ガロンにつき一片の手數料を取つて居る。この周旋所の計畫のねらひ所は餘剰ミルクは全部之を加入せる製酪所へ送り製造されて液體ミルクの市場から遠ざけられるのである。其周旋所は大いに直接に消費組合界へ賣り込んで居る。それは英國に於て最大の農業者の協同組合的酪農販賣機關であつて、その採れる方法は誠に用意周到なものである。

スコットランド案或ひはイングランド案の卸賣的酪農販賣組合の効果を認めるとしても、尙ほ問題の残るのは加工されたミルクの賣れ口である。英國に於ける農業者の組合は何れもコンデンスミルク、ドライミルク或ひは乾酪素を製造する點にまでは手を伸ばさなかつた。其故にバター、チーズが考慮する可き

商品となつて居る。消費の中心地から遠い二、三の地方ではバターやチーズの製造は眞に重要なものであるが、然しこれ等は工場生産物よりはむしろ家庭生産品である。コーンウォール(Cornwall)、デボン(Devon)、カムバランド(Chumberland)及びワイト島(Isle of Wight)はバター製造地方である。然しコーンウォールを除いてはその生産物を協同組合的に販賣しやうとする試みがなされなかつた。南はソマーセット(Somerset)、北はチシャイア(Chester)、シニロ、プシャイア(Shropshire)及びランカシア(Lancashire)は主たるチーズ製造州である。ランカシアに於ては農場生産のチーズの販賣の組織化に成功した組合が一つあるが大部分の州は未だそれに手を染めて居ない。或る程度までは此のことは良質の農場生産のチーズの賣れ口が悪くないと云ふことのためであらう。けれども何等かの手段を採用してチーズ製造が改良され、加工ミルクの價格を増すことが出来るならば、ミルク生産者の一般の幸福と云ふ見地からして、それは價值あることであらねばならぬ。ランカシアの此の協同組合ミルクの取扱機關は唯一無二のものであつて他に設立を許さぬと云ふ理由は何等存在しないのである。チシャイアや其他に於

ては生産物の改良や廣告のために家内チーズ生産者を組織しやうとする運動がある。そして其次の段階は他の國々に於て實行されて成功した企てである所の農場生産のチーズの團體的取引である。既に示されたやうにチーズを販賣するのみならず製造する所の協同組合は二種類ある。即ち専門的チーズ製造組合はチーズ生産の主たる中心地には存在しなくて殆んど絶對的に地方的な半ば贅澤品たるスチルトン(Stilton)、ウエンズリーデル(Wensleydale)の二種類を取扱つて居るのである。ウエンズリーデル組合はたつた一つであるがスチルトン組合は八つある。そしてこれ等組合の弱點は市場に於けるこれ等の不統一と云ふことである。歐洲大戦中にコーンウォールにチーズ製造所を設立したことがあるが、之は完全なる失敗であつた。適當なる創立者、技術家が缺乏し、生産物は貧弱であつて、戦時の物資缺乏が去ると同時に販賣を見付けることが出来なくなつたのである。農業者達は彼等のミルクを家畜飼養の方へ向けた方がむしろ有利だとした。そしてチーズ組合は次から次へと減びて行つた。

全國にはあちこちにチーズを製造する組合が未だ澤山ある

が、それ等組合は確信からではなくして、止むを得ずチーズを製造して居るのである。およそチーズはあまり売れ口の良い生産物ではない。チーズ製造は酪農組合へのミルクの運送、そして違つた農場からのミルクを何うしても混合しなければならぬと云ふやうな技術的條件に依つて、及び餘剰ミルクが不規則に

大量に出来て急いで製造せねばならぬこと、そして場所の差違つての必要、或ひは財政上の窮乏等のために屢々それが成熟する前に賣られねばならぬと云ふ事實に依つて大いに影響されるのである。尙ほ支配人は主として液體ミルクの取扱ひについては専門家であるが、チーズに就いては専門家ではない、そして其支配人は不規則な小量のチーズを然も良質のではないチーズを他の多くと競争して賣つて居るのである。或る程度まで同様な條件はバターにも適用されるのである。組合が何等かの聯合の形式を採ることはそれに對する救済策だとして居るが、唯大規模取扱ひと云ふだけでは全的解決がなされたとは云はれないのである。農場生産のチーズに對する協同組合的販賣周旋は若し質、量共に確保されるのでなければ之の加工生産品取扱ひは困難なものであらう。こゝに再言するが液體ミルクの價格と加

工品の價格との間に於ける開きを縮めることは、チーズ製造が死物狂ひの手段としてなされるのではなくて、ミルクに對する恒久的な補助的な捌け口として一層規則正しくチーズを製造するやうにさせることに役立つのである。

第五章 家畜並に食用肉販賣組合

食用肉の家畜の生産はイングランド農業に於て最も重要な唯一の要素である。尤も最近は酪農生産品が價格に於てそれに近づいては居るが、食用肉の輸入は最近五十年に大いに増加したが、イングランドに於て消費される牛肉の五十%（スコットランドの供給を含む）は尙ほ國産品である。それに豚肉の四十%もそうである。牛の生産に於ては漸次増加があるやうに見えるが、酪農業の競争に依つて幾分食用家畜の供給は減少した。家畜の販賣は非常に複雑性を帯びて居る。それは何故かと云ふと一部分は牛が（相當の程度まで豚羊もさうであるが）二度賣られると云ふ事實によるのである。即ち第一は肥らせるための飼育用家畜として賣られるのであつて、仔家畜増殖者から食用家畜として仕上げる飼育者の手に渡る。第二は肥大した屠殺用牛として賣られるのであつて飼育者の手から卸賣商或ひは牛肉小賣商の手へと渡るのである。此の二度の賣買の経路に於て家畜は商人に依つて轉々と賣られて結局は屠殺用としての最後の用に當てる人の手に入るのである。飼育用家畜は直接に農場か

ら農場へ渡ると云ふことは殆んどない。或ものは市場を通じて他の農場へ渡ることもあるが大部分は市場に於て商人に依つて買はれ、商人はそれを仔家畜増殖地から飼育地へ送るのである。そして其飼育地で大きくなつて他市場で再び賣られるのである。斯くの如く農場から農場へ渡る其間には少くとも一人の仲買人と二つの市場とが存するのである。屠殺用家畜は中には地方食用肉商の商人、食用卸賣商の代理人、ベーコン工場の代理人が農場から買集めるものもあるが、大部分は市場に於て賣られるのである。二、三の私設家畜取扱ひ市場があるが、此等は大部分は商人に依つて使用されて居る。多くの市場に於ては大小の販賣が競賣に依つて執り行はれるのである。牛は普通目方で取引されるが羊や豚はさうではない。何處に於ても格付の方法に依つては取引されて居ないやうである。屠殺は段々多く卸賣商で執り行はれて居る。或ひは或場合に於ては都市の大規模な私設屠殺場で行はれる。小賣商に依る小規模屠殺はまた／＼存在して居る。そして又生産地域で屠殺して死體を都市の卸賣商へ送る地方商人もある。屠殺を執行するベーコン工場も多少あるのである。

之の賣買組織は農業者の見地からすれば明かに不利益なものである。それは錯雑であり、投機的であつて、全く仲買人の手中にあるのである。イングランドに農村協同組合が出来てからいふ早く、組合員の利益になる様に家畜の販賣を組織化しようとする試みが農業者の購買組合に依つてなされた。一九〇四にグラッセスターシャイア(Gloucestershire)に家畜競賣の組合が始められたが長くは續かなかつた。同じ頃東部諸州農業者協同組合(Eastern Counties Farmers' Co-operative Association)が豚の販賣を採り上げた。主として私的交渉に依つて取引するのである。一、二の他の組合も亦同様な活動をした。同時に澤山の農業者の競賣市場が會社法に基いて設立された。歐洲大戰が起き食糧の統制がされてから之等の發展は妨げられたが、それでも一、二の協同組合競賣市場が設立された。協同組合屠殺場は歐洲大戰前は殆んど試みられなかつたが、食糧統制の時に當つて政府は公認屠殺場を設立した。そして農民は彼等の家畜を市場へよりは寧ろ公認屠殺場へ送ることを薦められた。多くの場合に於て之等屠殺場は現在の或ひは特別に組織された農業者の協同組合の統制の下に置かれた。食糧統制の休止に當つて組

合は之等の屠殺場を永久に承繼しても良いと云ふ許可が與へられた。そして大體はそれを承繼したのである。食料統制を休止して後になつて三組合が又同様の仕事をするために組織された。尚ほスミスフィールド(Smithfield)に中央販賣周旋所が、農業卸賣聯合會の特別食用肉部と協力して活動して居る販賣人の一團に依つて組織された、けれども其協定は續かなかつた。供給や價格に於ける激しい動搖があつて、そのため組合員の組合に對する忠實、組合の周旋所に對する忠實は共に根柢から顛へされた。澤山の組合は閉鎖の止むなきに至つた。あらゆる種類の家畜を取扱ふ機關に加ふるに數個の農業者のペーコン工場が組織された。特に歐洲大戰の後になつて。

家畜や食肉を取扱ふ組合で殘存するのは十九組合であつて、其中には主たる仕事は協同組合經營の他の部門である所の六組合を含んで居る。それ等の總賣上高は一、二〇六、一四一磅であつて、より澤山の數のある酪農組合のよりはほんの僅かばかり少ないだけである。屠殺場を經營して居る組合が最大多數を占めて居るのである。然しそのグループが最大の賣上を有して居る譯ではない。歐洲大戰中に組織された原始的な農業者の屠殺

場の中で残つて居るのはたつた五組合である。そして此等の中で三組合のみは食肉販賣に全く没頭して居り、他の二つは購買組合に附屬して居る。五組合の中四つはイングランドの西南部に在り一つは北端に存して居る。加ふるに最近組織された農業者の屠殺場兼食用肉小賣の組合が一つと一般的組合に依つて所有され大いに脈を取扱つて居る屠殺場が一つある。次の平均數字は四つの獨立せる組合に就いて或る概念を與へるであらう。

組合員數	非組合員供給者	出資	準備金	借入資本	賣上高
九八	一一四	二、四〇七磅	八〇四磅	七五〇磅	三四、二四六磅

一組合は(小賣をせる組合)組合員のみから供給を受けて居ると云ふ事實にも拘はらず非組合員供給者の數は組合員數より著しく多い。たゞ二組合のみが借入資本を有して居る。一は組合員からの借入金から成り、他は銀行の當座貸越である。平均賣上は前述の小賣組合に依つて引下げられて居る。屠殺場を經營して居る三つの一般的組合の賣上は此平均以下である。更に平均を示せば。

家畜並に食用肉販賣組合

一組合員	一供給者	一組合員	一組合員	出資一磅	資本一磅
賣上高	賣上高	出資高	資本高	賣上高	賣上高
三七三磅	一五三磅	二四磅	四〇磅	一四磅	八・六磅

其仕事の性質から考へて見て一供給者當りの賣上はやゝ小である。然し組合の或るものは比較的小農地方にあると云ふ事實は注意されねばならぬ。一組合員當りの投資額は非組合員との取引が大いに爲されて居る關係からして非常に高い。然し多くの組合は公立屠殺場或ひは他の屠殺場を借用するのであるからして一磅の賣上に要する資本は大ではない。組合員の供給契約は何等強制されて居ないので、組合員の供給の不規則性及び時としては劣等品の供給があるのであつて之が組合の最大問題となつて居る。規則正しい供給を維持し、顧客を満足させ、屠殺場をして能率良く働かせるために大概の組合は非組合員から時としては市場からすらも大いに買入れることを餘儀なくされて居るのである。買入れの方法は色々ある。或るものは委託で買ひ、或ひは重量に基いて買ひ、或ものは市場價格で買つて居る。數組合は三方法を全部混用して居るのである。一組合は全く羊

ばかりを取扱つて居るが、大體は此の仕事としてはあらゆる種類の家畜を取扱ふのが常である。屍體の一定量或ひは時としては全部が地方的に肉類小賣商へ處分されて居るのは消費地域にある二組合の場合に於てである。他の組合は自からが小賣する所の小部分を除いては彼等の生産高の全部を鐵道便でロンドンの卸賣商へ送るのである。組合は又獸皮其他の生産物を卸賣組合其他の製造業者へ賣つて居る。穀組合は健康検査官の屠殺獸の食用に不適當なることの言渡しに對して保險をつけやうとする計畫を行つた。經營費は明らかに經營規模の大きさに依つて區々である。約三%から小規模小賣組合の場合に於ては十六%からの經營費に達して居る。二組合は一九二九年には損失をしたが一組合は出資に對する利子支拂を續行して居る、他の二組合は餘剩があつた。そして五%の利子を支拂つた。其中一組合は取扱高に應じて配當をした。購買組合に附屬して居る屠殺場は其財政状態を分離して明らかにしたものがないので不明であるが、それ等は繁榮して居ると云ふことは明らかである。之等の組合に加ふるに、今一つの組合が存する。其組合は家畜の疫病が流行して家畜の市場での取引が休止した時に、地方的に屠

殺を行ふために設立されたのである。然し禁令が解除されるやその組合は不活潑なものとなつてしまつた。

主として或ひは絶對的に家畜の販賣に従事して居る協同組合競賣市場は四つある。そしてヨークシャーや北部ミッドランドに集中されて居るのである。それ等組合は二五一、五七二磅の總賣上を有して居る。加ふるに北部に於ける一酪農組合が時々家畜の競賣を行つて居る。そして又他の二、三の組合も同様に家畜の取扱ひをなす可能性がある。家畜の正規の競賣市場は一を除いて他は全部最近設立されたものである。あらゆる種類の家畜が賣られて居る。二組合は鶏卵をも販賣して居る。次の平均の數字は規模に於て大きな開きのある組合を平均したものであるが然し幾らか興味のあるものである。

組合員數	非組合員 供給者	出資	準備金	借入資本	賣上高
二四八	一二五	二、七〇三磅	一、九五三磅	一、四二二磅	六二、八九三磅

組合員數も區々であつて九十人ものから四百五十人ものまである。賣上も五、三〇〇磅ものから一六二、五六八磅のもの

までである。後者の最大の組合は又相當の量の必需品の購買をも行つて居るのである。前掲の數字にはその數字は含まれて居ない。非組合員供給者の數の評價は必然的に幾分推測的であるからして、表示されて居るよりは上であるかも知れぬ。

組合員	供給者	組合員	組合員	組合員	組合員
當上	當上	當出	當資	當資	當資
高	高	資額	本額	上	上
二五二	一三三	一〇	二四	二四	一〇
磅	磅	磅	磅	磅	磅

之等の數字について最も著しい特徴は資本投下額の低いことである。このことは其方法に於ては買手の支拂が迅速であること、及び大抵組合は一市場を新たに設ける必要はなくて現存する設備を利用することが出来ると云ふ事實に因つて可能ならしめられる。競賣人は或ひは組合の使用人として雇ひ置かれ、或ひは契約で以て働くのである。競賣は時としては毎日或ひは一週の中數日を定めて執り行はれる。執られる方法も普通の競賣場の方法と同じである。競賣手数料は普通約5%の率であるやうだ。牛一頭について一志と云ふ風に或ひは羊、豚等々についてはそれらに相應した一定料金を取る方法が歩合の方法の代

りに時として用ひられる。供給契約は何等強制されて居ない。従つて組合員は賣上の數字に示されて居る様に組合に對して不忠實であつて、彼等自身のものである所の競賣市場に對する後援の熱意を缺いて居る。三組合は一九二九年には欠損をした。然し一組合は尙ほ引續いて利子を支拂ひ、且つ組合員に對して配當を行つた。最大のものである所の一組合は餘剩をあげ出資に對して6%の利子を支拂ふのみならず、組合員の提供高に對して一磅につき二志六片の配當を爲した。

形式に於てこそ協同組合ではないが、其意圖に於ては協同組合と變らぬ所の農業者の競賣市場について簡單なる説明がせられねばならぬ。最も最近に出来て最も成功した所の一はミドランド市場(Midland Market)である。それは一九二八年バンブリー(Banbury)に設立された。そのミドランド競賣市場の設立者は最初それを協同組合として設立したい意圖であつたが、市場の設立のために相當の資本が必要とされ、然も一組合員二百磅の出資限度の下に於ては充分なる資本を得ることが出来ぬことが悟られた。其結果は株式會社組織と云ふことになつた。二百三十三名の會員の中の大部分は農業者や地主である。其市場は近

年の價格下落や其他色々のひどい困難な目に遭つた。が然し現在は健全なる財政状態にあつて、一九二九年には、四〇〇人からの顧客に對して總額五一二、八六九磅の家畜を賣つて居り、相當の利益を擧げて居る。そして農業者の機關として立派なる模範となつて居るのである。

合同養豚事業を爲して居る貧乏人の一小組合は之を除外してこの豚を取扱ふ組合を述べて以て家畜並に食肉販賣を第一事業とする組合の結論とする。家畜を相當に(一つの場合に於ては大規模に)取扱つて居る數組合の購買組合が未だ残つて居る。彼等の販賣高は二五〇、〇〇〇磅以上である。實際に其額は家畜販賣組合の他の何れのグループに比較しても之以上の取扱高は無いのである。之等組合の中で最も大なるものは東部諸州農業協同組合(Eastern Counties Farmers' Co-operative Association)であつて、該組合は其組合の屠殺場に於て取扱はれる額の其上に約十八萬磅の額からの豚を取扱つて居るのである。豚は組合員から集められ、選別せられてウルトシャイア(Ulster)や、ミドランド(Midland)の煙製業者の所へ送られる。組合は彼等に對して周旋者の地位にあるのである。供給者は毎週時の市場相

場で支拂はれ、組合の經費として手數料が一磅につき一片の保險料と共にそれから差引かれる。他の組合は組合員のあらゆる種類の屠殺用家畜を取扱ひ、私的交渉に依つて屢々消費組合へそれ等を賣るのである。

協同組合ペーコン工場は他の販賣組合のそれよりも一層手數の掛る加工を行ふのであるからして、他の協同組合の事業とは幾分違つた所がある。それ等の歴史は大體に於て失望す可きものがある。歐洲大戰少し前に二工場が東部の州に設立された。そして輝かしい成功ではないが、爾來相當の成績で以つて經營して來て居る。一小工場が購買組合に依つて承繼されて暫く經營されて居たが永續きはしなかつた。一九二〇年から一九二五年の間に他に六組合が矢次ぎ早に組織された。三つは南部に三つは北部であつた。北部の組合の一は設立されたと云ふだけで全然活動しなかつた。残り五組合の中四つは二、三年經營されただけでやがて解散した。最後に組織された一組合のみが大なる困難と闘ひつゝも經營して來て居るのである。現在存する三組合の平均は次の様である。

組合員數	出 資 高	準 備 金	借 入 資 本	賣 上 高
一、二七八	三三、二六二 ^磅	三、三三三 ^磅	七、五九三 ^磅	一三五、二三九 ^磅

全賣上高四〇五、七四九磅の中半分以上は一組合に依つて爲されて居るのであるから賣上高の平均數字を眞に標準的なものと考へると誤りがある。此の最大の組合のみが準備金を有して居る。借入資本は殆んど全く組合員からの借入金であつて、銀行資本は一組合の場合に於てのみ使用されて居る。非組合員供給者に對する數字は何等出て居ないが、其數は無數であると信じられて居る。

一組合員 賣上高	一組合員 出 資 高	一組合員 資 本 額	出 資 一 磅 賣 上 高	資 本 一 磅 賣 上 高
一〇五 ^磅	一七 ^磅	二五 ^磅	六 ^磅	四 ^磅

一組合員當り賣上高が著しく低いことが注目される。そして他の種類の組合と較べて見て一組合員當りの出資は普通であるが、一組合員當りの總資本額は非常に低いものである。そして又出資一磅當りの賣上は少ないのである。之等の數字を以つてし

てもイングランドに於ける協同組合ペーロン工場の眞の發展を妨げそして多くの組合の失敗を惹起せしめた困難の存在を認識し得るのである。多くの組合は必然的に金のかゝる建物のためや組合員からの買入れに對する金融等のために充分なる投資を得ることが必要なのであつて、そのために苦んで居る。或場合に於ては出資をしたならば其組合員に賞與を與へるなどの方法を採つて居る。古くからある二組合は何れも何等供給契約を有して居ない。そして數組合の失敗したのは之の安全保證の無いためであつた。全ての工場は絶えず豚の不足に苦んで居る。之の状態は協同組合の工場にのみ特有なものではなくして、全てのイングランドの製煙事業に共通なのである。それは主としてポークとして賣ること、競り合ふがためである。組合は毎週價格表を巡廻せしめる方法を採用して居る。輸送料は支拂はれ、そして豚は屍重に依つて選別せられ、そして市場價格が支拂はれる。時としては優良品に對しては價格を増すのである。其際普通、保険料の控除がなされる。選別については何等特殊な或ひは標準的な方法は存しない。又何の組合も其組合員に對して其供給物の價格について一部分の支拂を受けて残額は販賣が果されるま

で待つ様に説き伏せたものはなかつた。工場は全てヴィルトシヤイア風のペーコンの製造に従事して居るが、折々極く少量のボークが賣られる。そして食用になる屠肉はソーセージや他の食料品に製造される。一組合は之等の副産物を販賣する所の一連の店を持つて居る。食用に適しない屠肉も賣り出されて居る。代理商と卸賣商とは彼等の相互の利益の保護のために、ガツチリと組み合つて居てそれを通じて組合は大部分の取引をするのであるからして、組合の市場への出荷の問題は相當考慮すべき状態にある。組合は普通代理商へ賣るのである。そして代理商と卸賣商との之の利害關係の聯繫を突き破つて消費組合界へ賣ることは屢々不可能とされて居る。一時イングランド農業者ペーコン販賣周旋所が多數の協同組合工場に依つて設立された。其意圖は全生産品を一手に此の周旋所を通じて賣らうとしたのである。けれども古い工場の或るものは之に参加しなかつた。従つて其計畫は遂に失敗に歸してしまつた。

家畜を取扱ふ所の協同組合が採つた三形式を考察すれば、何等非常に成功したと云ふ程のものはないが、競賣市場は大體に於て最も繁榮したものであつて、近代的な販賣方法は大概失敗

したと云ふことが認められる。そして若しイングランドに於て既に其過剩を來たして居る所の、小競賣市場を單に増加せしめるやうにはしない、それ等をドン／＼能率を擧げ大規模に活動して眞に經濟的ならしめる様にしたならば、恐らくそれ等競賣市場の他地方への發展の餘地があるであらう。之に反して、競賣市場は供給高に應じての配當の制度を通じて農民に對して元々競賣人手中に入つて居た所の利益から一定の割前を農民の手へ取戻しはしたが、それ等競賣市場は家畜取引に於ける仲買人の數を減少せしめ或ひは其取引の投機的要素を除去することについては殆んどなす所なかつたのである。

既に示された様にペーコン工場は投資、供給、販賣の三重の困難に直面して居るのである。そして其の現在に至るまでの記録に徴して見ても、其方面に於けるハカバカしい發展は望み薄いものであると云はねばならぬ。協同組合屠殺場は恐らく今後重要な地方的サービスを續けるであらうけれども、大いに發展して消費組合會に於て一般的となつて居る様な大規模で、そして高度資本投下の組合となるであらう様には見られない。イングランドに於ける大生産者の屠殺場の可能性は時々論ぜられ

はしたが、然しベーコン工場の運命は不吉な何物かある様である。其ベーコンの取引の協同組合的組織は、農業者に依つてよりは、充分資本を有し且つ需要を容易に豫測し得る消費組合に依つて經營される方が一層妥當して居る様に思はれる。事實消費組合界はその食肉供給に大いに力を入れ、それを以て注意す可き次の目的の一として居るのである。そして農民との直接的契約の形式が採らる可きであるとの考が消費組合に於て一般に了解されて居る。消費組合との直接契約の形式は農村協同組合としても最も望む所であつて、畜産物の販賣のための最も單純なる方法である。其方法は既に數組合の大購買組合に依つて彼等の組合員の家畜を販賣するために採用されて居る。

屠殺用家畜の販賣を行ふに最も有望なる方法は農業者の協同組合周旋所を組織することである様である。組合員は供給契約の下に周旋所へ供給し、そして周旋所は格付した後に家畜を委託の方法で以て消費組合や卸賣屠殺業者やベーコン工場へ送るのである。之の種の機關は比較的に資本の要求は少なく、且つ危険が少ないのである。それは大經營者の手へ屠殺事業の集中の傾向のある現在の時勢とも一致して居るのである。若し斯く

の如き機關が擴張されることが出来、そしてそれ等が現在活動して居る所の限定されたる地域より他の地域に於ても設けられるならば、其機關は遂には養殖者から飼育者への飼育用家畜の取引と云ふ非常に複雑な問題にまでその活動を擴張することが出来るのである。その飼育用家畜の取引は農業者のみが賣手買手として兩面に關係して居る取引であるからして特に協同組合經營に適して居る様に見える。

(註)

- (1) 親家畜から仔家畜を生ましてそれを飼育用として賣る人
(農民)
- (2) 仔家畜を買つて大きくして屠殺用として賣る人(農民)

第六章 羊毛販賣組合

第一節 總論

英國は世界七大羊毛生産國の一である。一九二四年には六、〇〇〇、〇〇〇磅の價格の羊毛を生産して居る。そして羊毛輸入國であると同時に輸出國でもある。輸出は年々増加して居る。

英國牧畜業の特徴は羊の品種の多いことである。従つて羊毛の用途、向け先、取引方法等に於て種々様々である。下等品は敷物製造のために多量に輸出され上等品は國內羊毛取引に多少特殊な市場を持つて居る。スコットランドに於ては羊毛の種類が限定されて居るので、その市場出荷は或る時は二、三の大買集め商の手に集中されて居たのである。所がイングランドに於ては羊毛の販賣組織は羊毛の種類と同様に種々様々である。

地方買集商(Country buyers)、所謂ブラッドフォード・バイヤー("Bradford" buyers)又は其代理商に對して個人的取引に依つて羊毛の販賣が爲されて居り、或ひは又他の商賣に従事して居る色々な商人が少量づゝの羊を取扱つても居るのである。前者

の場合に於ては其取引は農場に於て或ひは買手の店先に於て爲されるのである。之等の販賣組織に於て農民の見地からして有利と見られる點は次の諸點である。

- (一) 運賃費用の少ないこと。
- (二) 責任の軽いこと。
- (三) 販賣が隨意に行はれ得るがために賢明に賣る者は良い取引をすることが出来ること。

不利益と見られる點は、

- (一) 農民は市價に對して無知であること。
- (二) 買手たる商人も多いが尙ほそれ以上に賣手たる農民の方が多いこと。従つて買手の競争に因る利益を得ることは出来ないこと。

(三) 如何なる場合に於ても個人的取引過程に於ては貴重な時と手腕が必要であること。

競賣の方法に依る羊毛の販賣が地方競賣市場に於て、或ひはロンドン(London)、ブラッドフォード(Bradford)、グラスゴー(Glasgow)等に於ける中央集散市場(Central Wool Stalls)に於て行はれて居る。買手の間に競争が行はれ、そして取引の時間が省

ける限りに於ては地方競賣市場は個人的取引による販賣よりも優れて居るが、其市場が年に唯一度開かれるだけでは好機を逸んで賣ることの出来ぬ缺點がある。尤も他の競賣市場が充分手近な所で開かれて農民に對して選擇の自由を與へ得るのならば別問題であるが、尙ほ又あらゆる場合に於て競賣人は羊毛に對する専門的知識に缺けて居て、農民に對して適當なるサービスを與へ得ない缺點もある。羊毛の中央集散市場は買手の競争、好機の選擇、専門的取扱ひの利便を兼備して居るが、其缺點とする所は運送、貯蔵、競賣人のサービス其他に關する經費の多く要すること及び買占其他賭博的要素のあることである。

以上何れの方法に依るとしても、イングランドに於ける羊毛取引の特徴は仲買人の數の多いことである。彼等は羊毛の製造工業への媒介を行ふこともあるが、主なる機能としては彼等は羊毛を買取つて所持して危険負擔をすることである。

第二節 初期の羊毛販賣

農業者の羊毛販賣は暫くの間あちこちに農民の團體を作り、共同して同一の仲買人を雇つて自己の羊毛を賣る方法を採つた

羊毛販賣組合

のである。歐洲大戰一寸前には羊毛の販賣は農業必需品の購入を主事業とする農村組合に依つて爲された。そしてそれ等組合は單に個人羊毛商のために手數料を採つて買集めたに過ぎぬ。他に羊毛販賣のための専門的な組合があつて、それ等組合は羊毛を格付し貯蔵して私的交渉に依つて販賣し、或ひは地方又は中央市場に於て競賣の方法に依つて販賣した。多數の組合から羊毛を中央に出荷する提案は市場に於ける一時的不況に依つて實行されなかつた。そして歐洲大戰及び之に由來する統制のため、此の方面に於ける發展は妨止された。尙ほ又組合員の穀物や秣と相併んで組合の仕事の一部として、羊毛の販賣を取扱つて居る所の數個の事業組合がある。或る場合に於てはそれ等は羊毛販賣を行はうとする野心からよりは、寧ろ肥料、飼料の取扱ひと共に、羊毛の取扱ひをも行ふ個人商人と競争を行ふ必要から羊毛をも兼取扱つて居るのである。イングランドの西部の三組合はこんなわけからして約四萬フリス(Fleeces)を取扱つて居る。それ等の大部分は卸賣組合へ直接に行くのである。

歐洲大戰後になつて一層専門的なそして重要な組合が設けられた。ケント羊毛販賣組合(Kent Wool Growers)がアッシュンフ

* ード (Ashford) に一九二〇年組織された。一九二三年にはライランド羊毛販賣組合 (Rylands Wool Growers) とサウスダウ羊毛販賣組合 (Southdown Wool Growers) がタント羊毛販賣組合と同じ風に組織された。一九二五年に兩者は合併して南部羊毛販賣組合 (Southern Wool Growers) となり、チチェスター (Chichester) に本部を置き南部イングランドの大部分を其地域として居る。ついで一九二六年には東部羊毛販賣組合 (Eastern Wool Growers) が出来てイプスウィッチ (Ipswich) から東部アングリヤ (Anglia) までを地域とした。一九二八年にはミドランド羊毛販賣組合 (Midland Wool Growers) がマンリー (Banbury) に本部を置いて組織された。活動の範圍はミドランドは勿論近隣の州をも越えて居るのである。一九二九年になると早々、中央羊毛販賣組合 (Central Wool Growers) が出来て、スタムフォード (Stamford) に本部を置き、リンカン (Lincoln)、ルトランド (Rutland)、ライセスター (Leicester) の諸州及びノーサンプトン (Northampton)、ノッティンガム (Nottingham) の一部を舞臺とした。一九三〇年二月には北部羊毛販賣組合 (Northern Wool Growers) がヨークシャー (Yorkshire) のヤットン (Malton) に

出来た。一九二九年には羊毛協同販賣の提案を議す可くグラセスター (Gloucester) に於て委員会が任命された。

其年の三月には全國農業者同盟が羊毛販賣を議す可く協議會を招集した。これには農務省現存の羊毛販賣組合の代表者、組合を組織しやうとする人々が招かれた。其協議會の決議は全國農業者同盟の會議に報告され、其問題を取扱ふ常設小委員會が設けられた。其協議會の決議に依る現存の組合を代表する中央顧問機關設置の要求は拒絶された。小委員會は注意を他へ轉じやうとして組合の境界線の解決、組合の過剩防止、見本二十五% を十% に引下げるため、ロンドンの仲買人と商議することの諸問題を採り上げた。

第三節 スコットランド式組合

其間に幾らか違つた性質の發達がスコットランドに起きた。そして特にイングランド北部の羊毛生産者に強き影響を與へて居る。一九二六年に有限責任スコットランド羊毛販賣組合 (Scottish Wool Growers Limited) が大部分は大農である所の三百四十八人の組合員と二、八〇八磅(後に殆んど倍加された)の

資本でグラスロウ(Glasgow)に事務所、倉庫を置いて設立された。スコットランド農業者同盟(National Farmers' Union of Scotland)の手を取つてスコットランド農業組織聯合會(Southern Agricultural Organization Society)に依つて發起されたのである。資本は全然農民から醸出されたのであつて、最小限度出資額は應募と同時に一口一磅全額拂込で五口を持つことであるが小農は唯一口のみの出資をも認められて居るのである。小農地保有者組合(我國に於て農事實行組合が又單位産業組合の組合員たり得るが如し)も亦其組合員として認められて居る。此のスコットランド組合は最初から組合員と同時に非組合員からも羊毛を受取つて居るのである。

三年の期間自己の生産の一部又は全部を供給することを保證する所の組合員に對しては、無契約の組合員に對してよりも三倍から多くの利益の附加的配當が與へられるのである。組合員に對する前渡金制度はあまり顧慮されて居ない。元々設置されてある倉庫だけでは二五、〇〇フリトスだけしか入れる餘地がない。従つてより大なる倉庫が要求されて居る。多くの供給者達は最初の程は分類されて共同計算されることを好まなかつ

た。其結果組合は別々に羊毛を分類して賣つた。尤も一定部分だけはケントに於ける様に大量にまとめられはしたが。スコットランドに於ては羊毛の品質が一段と齊一になつて居るがためにそう大して分類が必要でもなかつた。組合は最小限度の經濟的取扱數量としてスコットランド羊毛生産の七・五%を必要とした。そして一九二七年(まる一年活動した最初の年)には、スコットランドの各地から三十萬フリースが供給された。それ等の大部分は黒面羊かチェビオット種かの何れかであつた。一九二九年に至つて組合員は四百十八人となり、販賣された羊毛の價格は殆んど五十九%増加した。一九二九年より三〇年に至る一年間には尙ほ一層の増加があつた。經營第一年度は資本に對して八・五%の純利益があり、第二年度には一八・五%に上昇し五%は出資に對する利子として支拂はれ、残りは準備金配當として分配された。之等の方法は數點に於てイングランドに於て行はれて居る所と異つて居ることが認められる。だが主たる相異點は販賣の方法である。羊毛は決して競賣せられないで、製造業者或ひは時としては羊毛を取引する商店へ直接私的交渉に依つて販賣せられるのである。非常に屢々外國に對しても販賣

を爲して居る。或買手は倉庫の中の大量の羊毛を検査するが、多くは見本で販賣が取り定められるのである。スコットランド組合は又羊毛生産者の必需品特に殺蟲劑を取扱つて居る。同組合はアルスターの羊毛の一部を賣る外にイングランドとの境界線以南にまで勢力を伸ばしカムバランド(Cumberland)、ノーザムバランド(Northumberland)の農民から供給を受けて居る。其地方では同一種の羊毛が生産されて居るのである。多くの場合に於ては羊毛の受け入れは個々の農民と直接になされるのであるが、同組合と農民との中間に農業者協同組合が組織されて、それが實質的にスコットランド羊毛販賣組合の代理店となつて居る例がある。ティーサイド農業者組合(Tees-side Farmers)がそれである。

第四節 協同販賣組織の利益

前述の如く羊毛協同販賣は著しい進歩を遂げた。特に最近一兩年に於て著しいのである。約百萬フリスが協同的に取扱はれて居るのである。殆んど半分はロンドン羊毛市場に於て賣られ、之の中四十%は輸出されるのである。

羊毛協同販賣の此の進歩と云ふものは其組織の中に或る明らかな利益の存することに基くのである。

- (一) 生産者は組合に供給することに依つて多數買手に對する少數賣手の地位に自己を置くことになる。
- (二) 彼等は分類に専門的援助を與へることが出来て全ての羊毛の價値を高めることが出来る。又販賣の技術に於て専門的援助を與へることが出来る。

(三) 彼等は忠告を受けて羊毛の生産、保存を統制し且つ羊毛の市場供給を統制して行くことが出来る。

(四) 彼等はより以上に市場の好機を掴むことが出来、恐慌に對してより強く抵抗することが出来る。

農業者自身に依つて統制される機關は農業者から提出される羊毛の品級を下げて、自己の安全を計らうとする様なことをしないで、提供される全羊毛に對して正當なる價値を割當てるのである。従つて全組合員は羊毛に對して充分なる價値を受取ることが出来、そして小生産者も大生産者と同じ有利な地位に立つことが出来るのである。之の羊毛販賣機關は大資本を必要とせず、従つて他人資本や補助金に依存することなしに農業者の

手で以つて經營して行けるのである。それが仲買人の仕事を行ふ場合には仲買人の利益をなくすることが出来る。そして如何なる場合に於ても個人の場合に於けるよりも團體に於て、小團體よりも大團體に於て諸経費は少なくなるのである。協同販賣はよく選別された大量を羊毛の提供することに依つて、競賣に當つて有利の地位に立つことが出来る。そして農業者のために羊毛の地方的價格の水準を高めることが出来る。最後に、イングランド羊毛取引は段々と輸出取引の方面に發展して來たが、然しイングランド農民が大陸の買手と直接取引出来るのは、協同組合に依る大量販賣に依つてのみ可能なのである。ロンドン羊毛集散市場(London Wool Sales)の記録に依れば、一九二四年には羊毛の小部分は獨乙、北米合衆國に行つたが、取引の大部分は國內買手との間であつた。所が一九二六年(原書には一九二四年とあるが、その誤植なることは明瞭であるから一九二八年の中間年を取つて一九二六年とした。)には半分以上の羊毛は輸出されてゐる。一九二八年には全體的數字は不完全であるがタント羊毛販賣組合取扱ひの羊毛の半分は輸出されたことが分つて居る。

羊毛販賣組合

之等の理由のあるものは同時に他の商品にも當てはまるものであるが、羊毛販賣組合の著しい進歩をもたらしたのは、羊毛に特殊なる所の事由が存するに因るのである。

第一に羊毛は最終消費者に到達する前に手数の掛る、そして高度資本の要する製造の過程を経ねばならぬ生産物である。従つてそれが賣られる場合にはそれを一手にまとめて其手を経て賣られねばならぬ。

第二には、羊毛の價値は専門的且つ安價な選別の作業に因つて非常に増加されるのである。

第三には、戦後に於て、少くとも極く最近まで羊毛は良好なる賣れ行きを續けて來た所の農産物の一であつた。

最近二三年に於ては羊毛の世界市場は順調でないであつて全ての組合は其經營に於て大なる試練を経て居るのである。

第五節 當面の諸問題

羊毛協同販賣の十年間の經驗の中に色々の多少痛切なる問題が起つた。供給者の忠實なる支持を確保することは仲々困難なことであるが、組合經營に影響する最大困難事は羊毛生産者が

散在的に存在すること及び羊毛が非常に種々様々であることである。之は直ちに次の大問題に導く。即ち「組合は小地域に於て心を込めたる活動を爲す様に目指す可きか、それとも多少組合員の集中は薄らいでも大地域に渡つて活動す可きか」と云ふことである。之は密接に「組合は其經營を地域と云ふものに基礎を置く可きか或ひは品種に基礎を置いて經營す可きものか何うか」の問題に關聯される。疑ひもなく兩者ともそれ／＼經營上有利なる點は存在する。小地域で經營することは運送費を引下げることが特別の品種に集中して經營する方は選別費、販賣費、そして中央集散市場へ見本を送る場合には運送費をも引下げるのである。そして其結果として商品をより販賣し易いものとする。後者の之等の利益は前者よりも優れたもの、様に看取されるのである。

然し多くの地方に於て一品種に制限することは不可能である。そして此處に稍々違つた問題が起る。それは一羊毛の品質が何れの場合にも同様である時は、小組合を經營するのが最も有利であるか、それとも大組合を經營するのが最も利益であるか」の問題である。或程度まで經濟的取扱ひ數量に最高最低の

限度がある。諸經費はフリースの數の増加と共に減少して行くが、然し一選別者は一年(約十五萬フリース)の一定數量以上を取扱ふことは出來ぬ。そして其制限を少しでも越えれば第二の選別者を雇ふことが必要となつて來る。従つてその俸給は諸經費を増すことになるであらう。同様の考へは或程度まで取扱數量と倉庫の關係にもあてはまることである。けれども之等の大組合に對する反對論は、事實に即してと云ふよりも寧ろ理論上のものである様である。實際は建物は常に漸次に大きくされることが出來るし、又選別者は臨時的に短期間だけでも雇ふことが出來るのである。小組合のための他の論據は運送費の少ないこと、經營に關して充分なる統制と了解を持ち得る點である。然し小組合の場合に於ては取引に當つて大規模經營の相手方に對して取引上の支配力を増加せしめると云ふ不利がある。或大きな組合は諸經費は或ひはそれより幾分小さい組合の諸經費よりは大であるかも知れないが、二つ合せて同額の羊毛を取扱ふ二組合の諸經費の合計よりは高くないことは確實である。

大體に於て、特殊な一品種或ひは同一市場に於てお互に張合

つて居る様な類似せる二、三の品種が近接地域に於て飼養されて居る場合には一組合然り而して唯一組合のみがそれ等を取扱ふのが至當である。廣い地域に雑多な品種が飼育されて居る場合には其地域を一組合に依つて經營することが運送及び經營能率上にも適合して居るのである。互に隔絶せる地域に同一若くは類似せる品種が飼養される場合には、其協同販賣は中央統制機關が存しない限りは非常な困難なものである。兩者（隔絶せる）を同一組合に結合せんとすることは恐らく失敗するであらうし、そうかと云つて二組合が各々に組織されたとするならば、協同組合同志の間で競争するいまわしい光景を想像するに難くないのである。

次に、協同組合研究の範圍を幾分越えるものであるが、二つの技術的な點が問題となつて居る。それは何の程度まで立派に選別され、良いのかと云ふこと、羊毛を販賣するに當つて水洗毛として、或ひは脂毛のまゝで提供すれば良いのかと云ふことである。後者に關して販賣組合の一般的意見は洗毛することとは不利益であると云ふことに成つて居る様である。尤もブラッドフォードからは反對意見が出て居るが、羊毛は全ての農

業者の組合に依つて今尙ほ兩方の状態を取扱はれて居るのである。

第六節 協同販賣の影響

協同組合による共同的販賣の利益には、又それにつれての缺點と制限とを持つのである。小生産者も大生産者も共に同一物品に對しては、等しく良い値を得ることが出来ることは終局には兩者の利益になるのであるが、最初に於ては最も利益を得るのは恐らくは小生産者である。そして大生産者は（特に達見を持たぬ所の）自己は近隣の弱小生産者の負擔を分擔してやつて居るのである、彼等の犠牲になつてやつて居るのであると云ふ風に考へる。又次に組合員の生産物に對する組合の統制と云ふことである。品質は殺蟲、剪毛、荷造等の方法に多く依存するものであるからして、品質に關して、組合は營利商人が有するよりも、以上に組合員に對して影響を有して居るのである。之に反して數量に關しては其影響力は絶無なのである。商人は若し彼が買入れるのは不利益だと考へるならば、農民の羊毛を買ふことを拒絶する。生産者の組合は販賣條件が悪くても組合員の

羊毛を受入れることを拒むことは決して出来ぬ。何となれば組合と云ふものは組合が利益を得んがためではなくして、協同販賣と云ふサービスのために存するものであるからである。地方的に農業者の顧客を争ふ個人商人は組合から組合員を引出さうとして、或ひは新組合員を興へまいとして屢々買入れ値を高くするのである。尙ほたとへ協同組合の価格が最初はやゝ高くあつても、その影響に依つて度々地方の一般商人の買入れ価格も騰つて來て、組合の農民に對する利益が不分明なものとなることもあり得るのである。又前にも述べた様に生産物の価格が低い場合には生産者の組合は不利なのである。營利商人は生産物の価格が安ければそれを安く買つて安く賣れば足りるのであつて、そして尙ほ其差額から利益を擧げ得るのである。所が組合にあつてはそれは行かぬのである。先づ第一に重きを置かれるのは組合員であつて、出來るだけ高價に買取つてやる様にしなければならぬのであるから、生産物の価格の低い場合は不利益なのである。商人の仕事を企てることに依つて、生産者の組合は市場の危険を負担すると云ふことが理解されねばならぬ。

は良い値で賣つたが秋には値がぐつと下ると云ふことがある。若し農民が商人に賣つたのならば、腹を痛めるのは商人であるが、然し若し組合を通じて賣つたのであるならば、農民自身が損失を負担せねばならぬのである。

第七節 組合内部の問題

組合と組合への供給者との間の關係につき二、三考慮す可き點がある。先づ第一に組合は組合員とのみ取引する方が得策であるか、或ひは非組合員とも取引する方が得策であらうかと云ふことである。最も一般的に認められて居る意見としてはこうである。「組合は組合員の供給に其仕事の基礎を置く可きである。然し非組合員でも、若し彼等が規則正しい供給者であるならば、彼等は又組合員となると云ふ了解の下に非組合員の羊毛を受入れても良い」と云ふことである。受け取られたる羊毛を全部共同計算することの望ましいことは疑ひもない所であるが、組合員が其方法に慣れるまでは、そして其價值を確信するに至るまでは、個人別に澤山の羊毛を選別することは時としては必要であるかも知れぬ。一定の期間組合に對し、彼等の羊毛

の全部或ひは一定量を供給することを、組合員が保證する契約はそれが組合員を保證し、組合員に組合の永久的利益を與へるのみならず、組合經營に就いて未來の仕事を豫算する基礎を與へて疑ひもなく利益なのである。が然し組合員の忠實と云ふことに對して、何等餘分な保證の不必要となる程組合員に對し信賴の置ける優良組合もあることにはあるのである。逆説的ではあるが次の様なことが實際言はれ得るのである。「契約の中に含まれた義務的條項、法的制裁はそれ等が引用される度數に比例して價値あるものである」と。義務的契約は組合員をして自己の組合に對して重大なる利害關係を持たしめ、彼をして單なる移り氣、一時的なる利益に引かされて他所へ自己の羊毛を送ることのない様にさせるのである。然し若し組合が能率あがらず、且つ其羊毛處理が利益の擧らぬものであるならば、組合員の上に定められたる如何なる掟も、組合員の永久的な支持、或ひは組合機關の繁榮を保證することは出来ない。

尙ほ更に羊毛販賣組合の間では一般的に行はれて居ることであるが、供給者に對して時價の七十%まで前渡しをする習慣について一言したい。之の方法は農業者にとつて或意味に於て有

利ではあつた。が然し其目的のために組合は其資金を銀行の當座貸越に依つて獲得せねばならぬ。従つて農民は自己の手に入る可き利益の一部を利子として手離さねばならぬ結果となるのである。或場合に於ては組合員は前渡金を放棄して代金の得られるまで待つたのである。これは確かにより大なる現金収入を得ることの可能を意味するのである。組合が未だ初步的段階にあつて充分なる信用が無い場合には、大なる銀行當座貸越の獲得に當つて屢々組合員の個人的保證が必要とされるのである。

第八節 販賣策の對立

羊毛協同販賣の實行に當つて、最も重大なる對立の一は販賣方法にあることが看取されるのである。中央集散市場に於ける競賣、そして組合の事務所からする私的交渉による販賣の二つであつて、各々其擁護論者がある。前者の擁護論者は「競賣に依る販賣方法は他方法に依るよりも大なる購買者を引附け且つ良い値が得られる、外國の購入者は地方まで出向いて仕入れをする様なことはしないが、中央集散市場の競賣に依つて外國

購入者を引附けることが出来る」として、ロンドンや他の中央羊毛集散市場に於ける競賣方法に賛意を表して居る。之に對して「競賣方法はケントの様にロンドンに近くて運送費が安く、非常に販賣に便利な組合にとつてのみ適用出来るのである。米國、日本其他の商館がシドニー (Sydney) へ直接仕入人を派遣して居ることに依つてロンドン販賣市場の重要性は減少しつつある。羊毛の様に選別が良く出来て見本に依つて品質の良く分る生産物、そして相當の期間保存の可能な生産物は公の競賣よりもより経費が少く投機的でない他の方法に依つて有利に處分出来る。」として私的交渉論者は應酬して居るのである。スコットランド案に依る私的販賣の支持者の議論は一つの重要な條件はあるが、大體正しいものと見て良い。私的交渉に依つて販賣する組合は大量の羊毛を持つて居るのみならず、羊毛の品質が齊一でなければならぬ。之等の條件はスコットランドに於ては具備して居るのであつて、それがためスコットランドの組合は發展したのである。けれども其條件は現在に於ては、イングランドの何處に於ても存在しない。各等級の羊毛を少しばかり宛しか供給することの出来ない地方組合は、組合事務所に

顧客を引附けることは不可能なのであつて、主要中心地に於て競賣に依つて販賣することが唯一の可能なる賣捌口である様である。スコットランドに於て行つて居る様な販賣方法は何處に於てもつまりは斯くの如き條件を以てして、始めて可能なりと考へられねばならぬことである。羊毛は世界的生産品であるために、英國の羊毛販賣について協同組合が何んなに發展して來ても、たとへ獨占の點にまで進んで來ても、價格統制と云ふことは覺束ないであらう。羊毛の配給の時生ずる無駄排除と云ふことは全て第一に重要なことである。何となれば協同組合の主として有利なことの認められるのはこうした合理化を通じてである。

そして結局市場に於て來る全英國の羊毛のために統制計畫を計ることが問題として考へられて來る。此の種の計畫は段々勢力を得て來て居る。要するに其提案は現在の羊毛の中央集散地を整理して新たに羊毛集散地を設け、之等集散地は又全部が聯繫して一つとなつて、英國全般に亘る大規模なものにしようとするものである。其企ての要項が草案され、そしてそれが成就するならば、中心は蘇格蘭土、ミドランド、東部諸州、南部諸

州、ヨークシャー及びウェールズにも、北部愛蘭にも、更に西南諸州にも各々一つ宛設けられることになるであらう。創設者の最初の目的は地方的中心地を選んで、其中心地に羊毛を集めることに依つて運賃を低め、且つ運送の便宜を計り、其地で選別され、荷造をし直されて、ヨークシャーや其他の工場へ直接に送達せられる様にするのであつた。

第七章 鶏卵販賣組合

養鶏事業は過去十年間長足の進歩をした。科學の應用は孵化、飼育に革命を招來した。農務省の鶏卵符牒全國統一計畫 (National Mark Scheme) はより良き販賣方法を通じて卵の標準品質の向上の運動に大なる刺激を與へた。養鶏事業が一般的農業不況の中にあつて割の良い事業となり得ると云ふ事實は多くの人々を養鶏事業へ引つけて一般的農業から此の新しい事業へ轉向せしめたのである。多くの鶏舎が續々と地方の至る所に設けられた。飼料や飼養具の要求が増して來て、主として小農地方に數個の専門的な購買組合が出来た。飼料の大量購入は小賣價格で小量づゝ買ふことに比すれば有利であることは明らかであつた。従つて之等の組合は一般に大進歩を遂げた。大きな一般的な購買組合の多くも、養鶏に轉向した所の農民の居る地方では飼料の取引が増大しつゝある。

鶏卵の協同組合販賣は數方面に特色ある發展をした。イングランドの南部に於ては大戦前に組織され、主としてロンドンの販賣代理店に委託して卵、家禽、兎の販賣をして居る所の六組

合の一團がある。彼等は廣く非組合員とも取引し、同様の仕事をする所の多くの買集商と競争して居る。他に二つの戦前に出來た組合があるが、之等は一層進歩的であつて、小賣商、料理店と直接關係をつけて居る。その中の最も古い組合は地方に於て最大の賣上を有し、自動車運送が盛になる前にやゝ自發的に發展したのであつて、廣い地域に多くの貯蔵所を散在し、従つて経費が高くかゝつて居る。今一つの組合は小地域に經營を集中して以つて経費を最小限度にまで節約出來たのである。之の二組合は何れも非組合員の供給を受け入れないのである。一層近代的な發展は競賣に依る鶏卵の販賣である。之の方法で以つて鶏卵を販賣する協同組合市場が五つあつた。其中の三つは主として果實、野菜の競賣に従事し、一つは家畜の競賣を主として行つた。第五の市場は鶏卵の販賣のためのみに最近組織されたものである。之の販賣方法は買手に對して生産者の名聲を樹立せしめる利益あり、猶ほ且つ買集商其他の小取扱人の手を省くと云ふ利益があるのである。

之等の専門的鶏卵販賣組合の外に多くの一般的な購買組合、一二の酪農販賣組合が組合員の鶏卵の販賣を企てて居る。それ等

は購買品を配達したり、牛乳を取集めたりするついでに、鶏卵を集めるのであつて、經濟的にうまく經營されて居るのである。之の方法に對する唯一の非難は一部の組合員のみが其サービズを利用するに過ぎないのに、之の取引に起る利益、損失が一般の勘定の中に含まれると云ふことである。之の故に之等の組合に關する細かい數字は後に示される専門的鶏卵販賣組合の平均數字の中にも含むわけには行かぬ。然しとも角も此の組合の一團は地方に於ける第二の大なる鶏卵販賣組合であるから、其平均數字は専門的組合のそれと、ほと同じ位ひに大なるものであらう。

次に考慮する可きものは最近全國符號統一計畫 (National Mark Scheme) の刺戟に因つて組織された組合である。それ等は地方に散在して居り、組織後未だ間がないので多くの批評を許されぬ。だが一つ、賣上の小なるにも係はらず選別費、検査費が高くなると云ふことが問題となるのである。鶏卵の統一計畫と云ふものが随分と遅れて居て、其標準化と云ふものが存せぬために、絶えず外國鶏卵の輸入は増加したのである。小賣商聯合會、消費組合賣店の進歩發展は統一された形狀、品質の

大量の委託貨物を要求する様になつて來たのである。けれども之の統一計畫は之等地方に於て殆んど注意を引かなかつた。何となれば小賣商聯合會や消費組合は、統一計畫の下に於ける最上級品よりは安價な卵を、下級品よりはより大きい卵を要求して居る。つまり良いもので安いものが欲しいと云ふ蟲の良い考を持つて居るのである。之が主たる困難である。最良の卵生産地方に於ても、其計畫の支持がうまく行かないのである。特にランカシアに於ては、全ての等級が工業地帯の地方的要求に適合しない。そして其計畫の下に於ては諸経費が高過ぎるとされて居るのである。その結果として此の統一計畫の理論の眞價は認めるが、其實行に當つては、選別包装の方法は其計畫の規定通り正確には行はぬと云ふ様な選別所が澤山出來て來るのである。彼等獨特の選別方法を既に樹立して、そして小賣商や料理店と有利な關係を生じて居る一、二の古い組合では資本は多くかゝるし、諸経費は増す所の全國統一計畫を採用しなかつたのは當然である。此の統一計畫の傾向は上級品に關する限りでは英國種鶏卵の價格を高め様とすることにあつた。その眞の目的は英國ものをして輸入上級鶏卵との競争に當つて、堂々と太刀

打ち出来る様にする事であらねばならぬ。全ての輸入鶏卵は外國品表記法(Foreign Marks Act)によつて、原産地表記のスタンプを押すことを強制されて居るが、上級外國鶏卵に對する信頼は確固たるものがあるからして、眞の競争は價格の問題となるのである。

全鶏卵販賣組合に共通な今一つの問題は、組合員との供給契約の問題である。鶏卵生産者は高價に賣れる秋季は個人的關係に依つて之を賣り、春季過剩の間は極度に組合を利用すると云ふ傾向がある。そして之の事は供給者に對して、何等同様の義務を有しない所の個人商人との競争に於て、組合を非常に不利な地位に置くものである。此の悪傾向を防止するための第一の策として、非組合員から供給を受けると云ふことがある。所が數個の組合は此の非組合員の供給を取扱はなのである。何となれば、それ等の組合は秋季に組合に供卵しない組合員に對しては、春季には其取扱ひを拒絶すると云ふ強硬なる經營策を採つて居るのである。一方非組合員と取引する組合は少くとも冬季に於ては、非組合員の供給に對して依存して居るのである。然し組合は彼等に對して何等統制權を有して居ないと云ふ

弱點は否み難いのである。或組合は次の様な契約形式を採つた。「組合員は組合に對して鶏卵の全生産を提供する可きである。若し然らざる時は一ヶ月の預告を要す」としたのである。若し組合員が契約を破つた場合には、組合から除名される。若し規定通り預告をした場合には、其人の組合員權を一時停止し、彼が新契約に調印する時に復歸が許されるのである。

二十一の鶏卵販賣組合は次の様な平均數字を示して居る。

組合員	出資金	準備金	借入資本	賣上高
四六五 ^磅	一、二三〇 ^磅	一七三 ^磅	八六三 ^磅	一六、五七〇 ^磅
一組合員	出資一 ^磅	全資本一 ^磅	一組合員	一組合員
賣上高	賣上高	賣上高	出資高	全資本高
三五・六 ^磅	一三・四 ^磅	八・九 ^磅	二・三 ^磅	四・五 ^磅

「但し購買組合の一團及階級組合にして鶏卵を取扱ふもの、前述の五鶏卵販賣組合の中の三つを除外す」

經營費は組合が上手に荷造するか如何か、或ひは鶏卵を蒐集するのを組合が行ふか、組合員に依存するか、如何かに依つ

て左右されるのである。經營費の平均は賣上の八・五%である。大組合の大部分は一打二片の經費となつて居る。表に現はさたて居る二十一組合の中で十四組合は年末に剩餘金を出し、中七組合は出資に對して五%の利子を支拂つた。尚ほ四組合は組合員の販賣に對して配當をしてゐる。前記の數字には組合員の家禽の販賣を含んで居る。尤も大概は大した項目でもないが、一組合は飼育場を有して居て組合員から鶏を受取つてそれを販賣のために飼育するのである。之は恐らく家禽の取扱ひについて現在の唯一の満足す可き方法であらう。

最後にイングランド鶏卵の中央統制機關についてである。それについて過去に於てなされた色々の努力について簡単に略述しやう。一九〇九年から一九一三年まで英國家禽聯合會(Poultry Federation)と云ふ機關が農業組織聯合會(Agricultural Organization Society)との協定で以つて、鶏卵及び家禽販賣の協同組合のために中央賣捌きの仕事をした。然しそれは一九一一年までは登録しなかつた。そして翌年の鐵道争議によつて大損失を蒙り解散した。ついで英國食卓用家禽販賣組合(British Table Poultry Society)が其資産を承繼して立派に經營して行

つた。が遂に歐羅巴大戦争の社會状態が供給絶滅を惹起した。之に次いで農業卸賣聯合會(Agricultural Wholesale Society)が三年の間其一部門として鶏卵販賣の中央機關としての仕事をを行った。それから英國鶏卵販賣組合(British Egg Producers)が組織されて、個人生産者と同時に全組合のために中央販賣周旋所の仕事を企てた。貯藏所は大きな町々に設けられ、一磅株が發行され、協同組合は十口を持ち、個人生産者は一口を持つことが要求された。五%の手数料が經營費として引去られ剩餘があれば組合員に返還された。此組合は充分なる支持を受けなかつた。そして唯の三百四十八の組合員と一、五六六磅の出資とで仕事を始めた。第一年度に於ては賣上は一四、二六七磅で二六八磅の損失があつた。優良組合は該聯合會を見棄て、支持しなかつた。従つて翌年には尚ほ一層の損失が出た。一九二四年には他のものが現はれた。それは家禽生産物協同販賣組合(Consumer Operative Poultry Products)であつて組合員は八百、餘剰家禽の育成販賣と同時に組合員の鶏卵の販賣も行った。然し之も長くは續かなかつた。

一九三〇年三月には、全國統一計畫の下に公認の包装者の委

員會の推薦で、全國標準化鶏卵中央販賣所(National Marketing Central Ltd.)が組織された。その組合はロンドン、マンチエスター、ニューカッスル、カーヂフの信用ある代理店を通じて供給品を販賣するやうに取定めたのである。組合員は全國統一計畫の下に公認の包装者の格付をしてもらうことを強制されるが、中央機關を通じて販賣しなくてはならぬと云ふ義務はないのである。組合員は中央機關の創業費として一磅株を一口持ち、そして其上に年々二磅の拂込金をするのである。五月の末には百十八口が持たれ、公認包装者の數は百四十三となつた。借入資本はないが、主務省は第一年度の經營について起るかも知れぬ所の缺損に對して、八百磅までの助成金を與へることを同意した。賣上高の二分の一は代理店に依つて控除され中央機關に支拂はれる。そして代理店によつて徴收される手数料は三%を超へることは出来ぬ。監督の必要上理事者は全國を四地區に分ち、各地區には包装者を以て任命された顧問委員會がある。一時は鶏卵中央販賣所(National Marketing Central)に全部の標準化鶏卵を獨占せしむ可しと云ふことが、希望されたが組合の多くは既に小賣商と關係を樹立して居るので、自然之に従ふことを好まなかつ

た。現在に於て中央販賣所は公認包装者の選別高の約十五%を取扱つて居る。同機關は活動後僅かに三ヶ月に過ぎぬ故にその進歩前途を批評することは少々尙早であらう。

第八章 ホップ販賣組合

ホップ協同販賣の近年の成果は、協同販賣組合に對するイングランドの向背に深淵なる影響を持ちつゝある。故に此處で其歴史を充分に述べやう。

有限責任イングランドホップ生産者組合(English Hop Growers' Ltd.)は、大英國の國產ホップの販賣を一手で取扱はんがため一九二五年に設立された組合である。ホップは一九一七年から一九二四年まで、政府のホップ中央會(Hop Central Board)に依つて統制されて居た。所が一九二五年の春に一九一七年以前の自由貿易に急に復歸したので、ホップ生産者は輸入制限の一般的解除、従つて完全なる不安状態に直面したのである。遂に政府に依る統制が結末を告げたので、生産者達は自分等のために自ら一機關を組織するの必要を感じた。全國農業者同盟に交渉して其援助を得て、一九二五年の收穫を處理す可く全國的販賣機關を設立する案が出来上つた。

此の新組合の發生は前のホップ中央會に負ふ所が多いのである。そして實際、職員や、統制の記録を承け繼いだのみならず

ホップ販賣組合

大いに其指導精神をも踏襲して居るのである。統制の重要原理は國家經濟のために、ホップ販賣にたづさはる人々の苦惱を出來るだけ軽くするために、全ての現在の取引の手段を利用することであつた。イングランドホップ生産者組合(English Hop Growers' Ltd.)も亦此の教訓を承け繼いだのである。

出資はホップ植付英段毎に二志の割合で組合員に依つて持たれた。生産者は一九二五年から一九二九年に至る五ヶ年の間、組合を通じて販賣するために、自己生産のホップ全額を組合に提供することを同意した。組合員が生産物を持越しすることを不可能ならしめるために五年と云ふ充分に長期間の契約をしたと云ふことは重要なことである。ホップが供給されるやいなや、其所有權は組合に移る。而して其ために前渡金も可能となり、最も有利に賣ることも出来るのである。なほホップ生産者は契約の期間の間は一九二四年現在の植付と、一九二五年植付の若木から取れる收穫高の合計以上に組合の許可なくしては、生産段別を増加することは出来ないことになつて居る。此の條項はホップ生産段別の統制を確保するとまでは行かなくとも、とも角もその増加を防いだのである。

若し組合員が組合に其ホップを供給しなかつた場合には、其違反者は契約に依つて、組合に提供しなかつたホップの生産段階につき、一英段毎に百磅の損害賠償を徴収されるのである。一九二八年四月までには、組合は之の條項に依つて六、三〇〇磅からの額の違約金を取つた。

之の組合の經營は理事會の手にある。そして組合員は各々一票の權利を有して居る。理事は次の割合で地方別に選舉される。

Hants and Surrey	1	Hertford	2
Worcester	1	Sussex	1
Kent (E)	2	Kent (Mid.)	2
Kent (Weald)	3		

ホップが組合に供給されるや、ホップは理事に依つて任命された評價者に依つて格付され評價される。生産者の代理人は四日以内に異議を申立て、生産者のために再評價をしてもらうことが出来る。其際十磅の供託をすることを要するのである。若し異議が通れば返還してもらうことが出来るのである。

ホップに對する支拂の實際的方法は、一九二二年までずっと

ホップ中央會に依つて採用された所のものと同様である。各生産者の生産物が別々に評價された後、市場の状況に依つて出来るだけ早くホップの販賣が行はれるのである。然しその販賣によつて得る手取金は、それぞれそのまゝ組合員に支拂はれるのではなくて、一旦中央基金に拂込まれるのである。そして該基金は組合取扱ひの全ホップ總價格に對する各個人から、受取つたホップの價格の割合に應じて生産者に分配される。

統制のホップ取引や、ホップ中央會の活動について、或程度の知識なくしては、此の組合の活動の眞價を知ることとは不可能である。統制前に於ては全てのホップは、生産者の販賣代理商たる代理商や問屋を通じて販賣された。そして彼等に對して手数料とか問屋料を支拂つたのである。所が戰時状態に依つて醸造工業の制限、食料生産のために土地の最大限利用の必要の起るに及んで、ホップの生産を制限し同時に斯くの如き生産物の公平なる分配を定めることが必要となつて來た。之の目的のためにホップ中央會が出来、ホップ共同販賣が始められた。中央會に次いで起つた此の自發的組合は、主として次の様な點に於て前機關(The Hop Central Board)とは異なるのである。此の組

合はホップ取引全體の利益の代表者ではなくして、唯實地の生産者の利益代表者なのであると云ふ點である。中央會の様に此の組合は尙ほ代理商を利用して居る。生産者は彼等のホップを代理商の倉庫に送る。然しホップがそこに預けられるや否や、ホップは組合の所有となる。従つて倉敷料は生産者個人が負ふのでなくて、全組合員の共通責任となるのである。一九一七年以前は前渡金は倉庫にあるホップを擔保として代理商に依つてなされて來た。然るに此の組合の下に於ては組合は組合員のホップを擔保として銀行から多くの當座貸越を得たので、此前渡金は代理商に依つてなされるのでなくて、組合自身に依つてなされたのである。だが前渡金も最後の支拂金も共に、其分配は組合が直接に個人生産者に對してなされるのではなく、代理商を通じてなされる。」

換言すれば此の組合は直接に商品に手をつけない所の共同販賣機關の一例型である。組合はホップの貯蔵について何等の設備をも有して居ない。そして此の貯蔵のサービスについては、前々から其サービスを爲して居た所の代理商達に依存して居る。ホップ生産者は約二千人もあるが、代理商は二十四人以下

である。尙ほホップ取扱商人は二百人以下である。之の組合がなした所のものはホップ販賣に關する限り唯一の中央機關として、組合員に對してホップの價格を増加せしめ、且つ安定を得せしめたことであつた。

九月一日現在に於ける毎年の販賣を示せば組合の賣上は次の様である。

	販賣年度	販 賣 高	販賣高合計
一九三三年收獲物	一九三三	二、〇六、四九六 ^圓 一八二〇 ^片	
〃	一九三二	一九、九三九 ^圓 九六 ^片	
〃	一九三一	二二、五五八 ^圓 一三 ^片	
小 計	一九三〇	二、〇九、一三四 ^圓 九七 ^片	
一九二九年收獲物	一九二九	二、三四、五五五 ^圓 七 ^片	
〃	一九二八	一九、七三九 ^圓 三〇 ^片	
小 計	一九二七	二、三四、九一四 ^圓 一〇 ^片	
一九二七年收獲物	一九二六	二、二二、五〇七 ^圓 七 ^片	
小 計	一九二五	二、二二、五〇七 ^圓 七 ^片	
總 計		六、五七、七六〇 ^圓 七 ^片	

経費は次の様である。

總	一九二五年		一九二六年		一九二七年	
	代理 商手 數料	販賣 處理 其他の 細費	代理 商手 數料	販賣 處理 其他の 細費	代理 商手 數料	販賣 處理 其他の 細費
收	107,116	9,211	91,000	6,338	62,111	3,550
獲	107,116	9,211	91,000	6,338	62,111	3,550
物	107,116	9,211	91,000	6,338	62,111	3,550
總	107,116	9,211	91,000	6,338	62,111	3,550
計	107,116	9,211	91,000	6,338	62,111	3,550
費	107,116	9,211	91,000	6,338	62,111	3,550

三年間の全経費はかくの如く賣上の五・七五%の割合を示して居る。

第一年度の經營の結果、一九二四年に課せられた輸入税あるにも拘はらず、國産ホップの生産高は消費に對して尙ほ過剰であることが分つた。それ故に價格維持のために組合員に對して熱心に十%の減段を要求した。翌年組合員非組合員から減段を

全部で二十%にしようとする云ふことが要求された。此の要求は二ながら成就されたが生産過剰は依然として續き、組合は生産制限の強制力を何等有しなかつたのである。

此の組合の實際の活動は満足す可きものであつた。組合の存する間は、價格安定と云ふことに大いに効果のあつたことは疑ふ可くもない。そして其經營費は極めて小であつた。然るに此の組合は短命であつて、その最初の五年間の契約の期間をも全部終へることは出来なかつた。一九二五年より二八年に至る四ヶ年の收獲を取扱つたに過ぎぬ。組合は一九二五年ホップ全生産面積の(醸造者自身生産するホップ生産を除外)九十三%を支配下に置いて經營を始めた。其時は唯一、三〇〇英段が含まれなかつただけである。一九二九年になると組合は全面積の八十%を統制しただけで約五千英段は含まれなかつた。組合が設立されて價格に安定を與へたために、組合外にあつても充分利益を受け得るの結果となり、従つて斯の如き組合外の生産者が増えて來たのである。それがため組合員は比較的になつて來た。一般價格水準は疑ひもなく組合に依つて維持されたが、組合の組合員に對する支拂は歩合支拂である。組合員が自己の生

産物に對して唯の八十%或ひは九十%の支拂ひを受けて居るのに、一方非組合員は同じ相場で自己の生産物の百分を賣ることが出来たのである。非常なる不満が組合員間に起り、組合外にある方が餘程利益であると云ふ風に考へる様になつて來た。結局組合は一九二九年八月に解散した。市場の公定價格が其後の状態を雄辯に物語つて居る。六月には平均相場が(LOW)に付(十一磅十五志であつたものが、九月には新生産品が五磅で市場に賣られ、十月には四磅十志、十一月には三磅十志となり、そして現在の公定價格は二磅五志になつて居る。今更ながら組合の功績が追慕される。

此の組合の歴史は、有能なる販賣機關を設けやうとする多數の人々の努力を、小數者の力に依つて無慘にも打ち破られた記念碑であると云ひ得るのである。

第九章 青果物販賣組合

果實生産は主としてウォッシュ(Wash)とディー(Dee)をつなぐ線の南に限定されて居る。中央諸州の生産地はそのほけ口をロンドン卸賣市場に依存して居る。東部諸州は大量を北部やミドランドに送り、西部に於ける生産地は近隣の工業都市に容易に市場を見付けることが出来る。餘剰は全國各地に移出される。青果物販賣の特殊問題は、其生産物が腐敗性の多いものであること並びに販賣可能期間が短期であることである。或場合に於ては之等は温室生産に依つて延長されもしたが、軟果物や多くの青物は全收穫物が僅々二、三週間の内に處理されねばならぬ。現在の販賣機關は地方代理商に依存して居るので、彼等は生産者から生産物を受取つて、選別もしないで、不整頓のまま、主要卸賣市場に送るのであつて、毎年市場に於ける混亂過剩を惹起するのである。生産者の機關も既に或地方に於ては種々の便宜を設けて代理商を除去し、市場に直接に接近しやうとして居る。之の關係に於ける最も重要な發展は競賣市場である。之は西部イングランドに於ける特殊なる様相である。最古の競

賣市場は全國の需要者から名聲を博して居る。他の二つは鶏卵販賣組合や購買組合に兼營されて居るのである。一つの中心に生産物を集中することは、大購買者を引つける利益を持つて居る。大購買者は自ら買入れに乗出すか、或ひは代理商を雇つて購入を委託するのである。此の販賣方法に於て最も困難なのは選別貸付の統一方法の問題である。何となれば受取つた時に各個人の供給物を分類して、それ等を各等級に割當ることは殆んど不可能であるから。上等品拔賣りに對する罰則は一組合に於て強行されて居る。そしてより良き選別をする様に組合員自身に依つて注意が拂はれて居るのである。之等市場の内二つは選別場を設け、私的交渉に依つても生産物を販賣してるのであつて、遠隔地からの購入者に對して(競賣による場合は遠隔地の購入者は、自から乗出すに非ざれば代理商を雇はねばならぬ、然るに私的交渉に依つて購入可能なれば其必要なし)仲介人排除の便宜を與へて居るのである。全て之等の市場に於ては、組合員の生産物供給の時を定めて居ないのであつて、組合員は何時でも組合に供給し得るのであるからして、生産物の出廻り最盛期には、とかく供給過剩を惹起し勝ちである。

協同組合販賣組織の今一つの形式は、生産物を大量に集めて委託貨物として問屋へ送る所の地方的組合 (Local Society) にある。全國で最古の青果物販賣組合と云はれるものは此の種の組合の中にあつて、其組合は自己の販賣場を主要卸賣市場に設け大量の甘藷を取扱つて、一年中組合員の供給物で以つて經營を續けて居る。外部からの供給物は極く少量取扱ふだけである。他に一種類の軟果物のみを長年間専門的に經營して居る組合が三ある。尙ほ最近設けられた今一つの組合は主として大生産者達に依つて支持されて居る。彼等は全ての主要卸賣市場の目ばしい問屋と絶えず接觸を保つ交渉者を雇つて居る。果物は選別され、特別なレッテルを貼つて販賣される。各組合員は検査人の監督の下に自から責任を以つて、委託貨物を荷造し送達するのである。組合員が若し其標準に違背するならば、除名の責を負はねばならぬ。選別を専門的に行つて居る唯一の他の組合は選別、荷造りは組合に依つて企てられ、小規模に林檎を取扱つて居る。イングランド西部の一重要組合は一流の問屋を通じて賣つても居るし、他方又地方的鐘詰工場とも直接に關係をつけても居る。従つて其組合は其工場が生産物の唯一のハケ口では

無いのであつて、工場の需要に對して取捨權を持つて居るわけである。此の代替的なハケ口を持つて居ると云ふことは、出廻り期の過剰を防ぎ價格の安定を保つ所以であつて、望ましいことである。歐洲大戰中應急策として食糧生産局 (Food Production Department) は青果物販賣のために各州の中央機關として活動する所の州販賣組合を組織した。之等の州販賣組合は州農業實行委員會の園藝副委員 (Ornithological Subcommittees) の監督下にあるのである。

生産者自身で以つて出来るだけ多くの資本を醸出する様に獎勵されたが、又一方食糧生産局は第一年度經營の損失については二百五十磅まで補償することに同意した。二三の場合に於ては州販賣組合の仕事は現存の組合によつて企圖された。一九一八年の果實收穫の失敗、それに加ふるに政府の補償は第一年度に限定されると云ふ通告は、之等組合の失敗の主なる原因であつた。一九一九年にはそれ等の大部分は消滅してしまつた。此の計畫とは別に多數の組合が此の期間に設立された。一九一八年には二十五の組合が經營されて居り、賣上總額の合計は三三三、二九七磅、組合員合計は八、〇六三人であつた。之等組合の

或ものは歐洲大戰中餘剩果實野菜の保存法として罐詰、ジャム製造、ビン詰、バルピング乾燥の經營を補助的に行つた。然し大戰後になつて、それ等組合の大部分は満足す可き經營状態ではなかつた。一九二三年までには唯の十八組合が經營を續け賣上合計は約三〇〇、〇〇〇磅であつた。尤も一組合は其中九〇、〇〇〇磅の賣上を有して居た。

販賣専門の機關としての組合の他に、主として組合員生産の甘藷、種子の賣捌きを行ふ一般的購買組合が二、三ある。生産者自身の所有する小賣販賣所が二つ大戰中に出現した。然し生産物提供が繼續し得ないこと、及び品質の劣等なことののために一般青果物商に成り果て、主として輸入品を取扱ふに至つた。何等販賣機能を持たぬのであるが、四つの他の組合が此の章の中に加へられねばならぬ。それ等の中二つは不良球垂を蒸すことに従事し、一つは特種のサイダーを造るために設立された。

最後の一つは青果物販賣組合の一と關係をつけてあらゆる種類の果物籠、果物箱を製造して居る。一、二の大なる販賣組合は又仕事の閑暇な時には彼等の職員を使つて之の仕事を行つて居る。青果物を販賣する二十三組合の平均は次の様である。

組合員	出資金	準備金	全資本
一七二	二、〇一一磅	三三二磅	六〇〇磅
一組合員 當り賣上高	出資一磅 當り賣上高	資本一磅 當り賣上高	一組合員 當り出資金
八〇磅	六・八磅	五・二磅	一一・七磅

競賣市場の平均經營費は約六%である。四組合外の全組合は年末に餘剰金を出して居る。そして三組合は出資に對して利子を支拂つて居る外に供給高に對して配當をして居る。

青果物販賣の特別必要事は、より良き選別と、より以上齊一なる荷造である。農務省當局は一時其標準化を企てた。然し現在の地方代理商に依る個人的なる取扱ひのためその統一計畫を妨げ居る。従つて其計畫は殆んど進展しなかつた協同組合はそれより良き選別へと努めて居る。が其上に若し組合が各々の收獲物につき、統一計畫を採用することが出来、同時に販賣状況につき通告を與へて呉れる中央機關を持つことが出来たならば、大變良いことである。次に現在一部のものに限り

て居る青果物保存と云ふことの尙ほ一層の進歩發展のために充分なる考慮が必要である。その事の進歩發展は餘剰を統制し、出廻期の過剰から市場を救ひ、價格の安定を招來するのである。

第十章 結 論

此の國に於ける農業協同組合運動は申譯的なものでなくて、或部門に於ては農業社會が主張する要求にかなう組織である。之は特に必需品の配給について眞である。如何なる農民も彼の意思一つで以つて、協同組合から完全なる便宜で以つて購買することが出来るのである。既に言つたことでもあるが購買組合については、組合の数を増加することは最早不必要である。寧ろ数を減ずる必要があるのである。小組合のあるものは地理的な特殊の事由から、特殊な能率、組合員の非常なる忠實のために當然存在して居るが、多數は一、二の理由から大きくなるのを失敗した組合である、大組合は堅實に形に於ても、地域に於ても、有用さに於ても段々増加しつつある。それ等の大部分は組合員たる農民に飼料肥料種子其他の必需品を賣る外に尙ほ他の仕事をもし居る。それ等の大組合は實際の仕事に於ては農民相手の商人であるからして、近隣の農村商人の行ふ仕事は何でも採上げて行はふとすることは自然の傾向である。或るものは家畜を取扱ひ、他のものは羊毛を、或ひはミルクをも取扱つて

居る。大多數は穀物を取扱つて居るが、中には大規模にそれを行つて居るので、購買組合と云ふよりは寧ろ穀物販賣組合と云つた方が良いと思はれる様なものもある。穀物販賣部門は原則として完全に購買組合に併呑されて居るので、若し此の商品（穀物）の協同組合販賣が擴張されるに至るならば、恐らく或一層熟考されたる計畫が必要となつて來るであらう。

販賣組合はその歴史は購買組合よりも新しいものであり、散發的發生のものである。ミルクは此國に於て協同組合的に販賣され得る最初の商品であつた。主たる目的として高級チーズを作る組合もあるが、大部分は牛乳のまゝで卸賣をし、過剰の期間にのみバター、チーズを製造して居る。之等の中或組合は其組合員のために、或る個人卸賣商と大量取引をするだけである。そして此組合の取引なるものは組合員から、規則正しい一定量の供給を受けてそれを賣捌くだけで、餘剰ミルクに對する對策は組合員の手放任して居るのである。所が他の一團があつて之等は餘剰ミルクの製造をのみ取扱つて居るのである。イングランドに於けるミルク販賣組合の發展は總體的には日和見的なものであり、地方事情に依つて左右されて居る。澤山の有益な

仕事はなされて居るのであるが、ミルク協同販賣の全體的機關は何等現はれて居ないのである。だが一つの重大なる事實が現はれて居る。イングランドの農民は絶えず發展して居る消費組合の酪農部門に自己のミルクを賣ることに殆んど困難は持たないが、彼が正當なる價格を受取ることを確保す可き彼自身の機關を要求して居るのである。農民に正當なる價格を與へない主要原因の一は、品質の不齊一と云ふことは兎も角としても、取扱ひ得ない餘剰ミルクの存在することである。地方的事情からして、それを地方的に解決することがあるかも知れぬが總體的にイングランド農民の現在の必要事は、團體的取引をすると同時に餘剰ミルクの取扱ひのため協同機關を作ることである。

イングランド農民にとつて同様に、或ひはそれ以上に重要である所の家畜及び食肉販賣は、協同組合的にはそんなに實行されなかつた。協同組合ペーコン工場は全く奇妙に不成功であつた。あらゆる場合に於て失敗の主なる原因は、イングランド農業者に依つて多くの品種の豚が飼はれて居ることからして起る所の豚の品種の不統一と云ふこと、及び農業者の規則正しい、そして繼續的な支持の缺乏して居ることである。ペーコン工

場は單なる販賣のための機關の一步上を行つたものであるが、それは製造の高度専門的部門への一つの冒險であつた。實際之等の協同組合ペーコン工場の大部分が仕事を始めた時は、現存せる營利的ペーコン工場の收容力は、有用なる豚の供給を遙かに超過して居たので、之等と競争した結果は、新參たる組合側が不運な目を見たのである。屠殺物は恐らく其發生からして既に不運なものであつた。何となればそれ等の大部分は戰時統制から起つたものであつて、全てが平時状態に適應することが出来なかつたのである。けれども數組合は今尙ほ存在して居て地方的に有益な仕事をして居る。農民の競賣市場は或場合に於ては一段と目ざましい成功をした。若しそれ等市場が眞に經濟のとれる能率のあがる規模で以つて經營し、あまり多くの小競賣市場を設けなかつたならば、ドン／＼と發展したかも知れぬ。將來最も興味ある發展は個人卸賣商、ペーコン工場のみならず消費組合へも食肉用家畜を販賣するために、農民の販賣周旋機關を設立することである。之は現在に於ては一、二の購買組合に依つてのみ企てられて居る。此の組織はイングランド肉に大なる需要を有する消費組合の要求に應ずるために、發展せしめ

る價值がある。販賣のための協同組合周旋機關は、明らかにペーコン工場のように、製造を企てることから生ずる危険もなく、資本も大して必要ではない。

鶏卵販賣組合は全國統一計畫が出来てから其強い刺戟を受けた。その以前に於ては鶏卵のみを販賣組合は、二、三の例外はあるが、大きなものもなく、又成功したと云はれる程のものもなかつた。今や十二以上の包装所が大規模に經營されて居てもものは獨立して他のものは現在の農民の組合と關係して經營して居る。それ等の成功は地方に依つて異なり、それ等が販賣する市場に依つて異なつて居る。純粹に田園地方にあり、ロンドンの高級國際市場に賣る包装所は常に成功した。統一計畫の下に販賣を統制するために必要なる中央販賣周旋機關は、經營日淺くかれこれ批評することは不可能である。其組織をして眞に有效ならしむるためには或る一定の義務を組合員に強制す可きである。之に反してとかく營利的市場へ媚を呈したがる現在の協同組合の傾向は、彼等の發展の可能性を束縛するものである。農村販賣組合はよろしく消費組合界へ販賣するやう努力す可きである。

果實販賣組合は未だそう大して進歩して居ない。協同組合の果實販賣について三つの方法が試みられて全部成功して居る。然しそれも一、二の地方に於てのみに過ぎぬ。三つの方法とは

(一) 果實競賣市場

(二) 中央市場に於ける營利的問屋を通しての選別品の販賣
(三) ジャム工場への大量販賣

販賣市況の通報、選別の統一方法は刻下の最大緊要事である。尙ほ果實はミルクと同様に餘剩生産物に關する問題が存する。野菜、特に軟弱質の野菜についてもやゝ同様の困難が生じ、同様の解決が講ぜられねばならぬ。甘藷は又別のことに屬し、それ等の協同組合販賣は今日の問題の一である。

ホップはイングランドに於て全國的販賣の主體となつた所の唯一の商品である。そしてその全國的取扱ひの試みと其失敗とは共に大いに我々を啓發する所があつた。任意的販賣契約を根底として一九二五年に組織されたイングランドホップ生産者組合は、組合加入を拒否した小數生産者の行動のために、現在解散して居るのである。組合それ自身は立派に經營されたのであるが、獨立的販賣とそれが段々と増加することのために、組合

は崩解したのである。この小數非組合員生産者に對處する何等かの有效なる方策が講ぜられるに非れば其組合は再び設立されることはないであらう。

近來の最も日ごましい發展は羊毛の協同販賣である。これは何年間も購買組合に依つて小規模に經營されて居たが、一九二〇年に最初の専門的羊毛販賣組合がケントに設立された。それが相當成功したので、それにちなつて他の五地方にも設立され、其運動は漸次南から北へと擴大して行き、最後の組織はヨークシャーに設立された。現在に於ては新組合設立の餘地は殆んどないくらいに増加して居る。現に存在する組合に基礎を置いて、全國的な統制機關を設けやうとする計畫が熟考されつつある。羊毛價格に於ける暴落は一層その必要を強調するに役立つた。

協同組合保險も相當に實行されて居るが、各國に於て重要な役目をして居る信用組合はイングランドに於ては實際に存在しないのである。機械の協同利用即ち利用組合は非常に限られたる發達しかして居ない。それと云ふのも其必要が大して感ぜられないからであらう。小農は彼等のために特に協同組合的方

法がすゝめられたが、自己の必需品を取扱ふ一、二の組合を設けたのみである。然し一般に小農は大農業者の組合の中に引入れられつゝあるのである。

斯く協同組合は農業經營の數方面に渡つて確固として建設された。農業必需品の購買組合に於ては現在の機關を利用し、活動範圍を擴大する外に、殆んどなす可き餘地なき程發展して居る。羊毛及び或程度まで鶏卵に於ては、全國的機關としては全國的になつたりとまとまつたものでは無いが、全國的範圍の骨組ばかりの組織とでも云ふ可きものが設けられた。ホップについて其失敗が我々に教訓を與へたに止まる。食肉、果實の販賣組合はすべて地方的經營の段階を出でない。ミルクは其組合は廣く行き渡り屢々其經營に成功せるものあるに拘はらず尙ほ前者と同様の地位にある。穀物や甘藷の販賣は至る所に於て購買組合の中に含まれて居る。然し協同組合に依る販賣の利益は痛感せられるに至り、それ等の販賣機關組織の必要が認められて居る。イングランドに於ける農村協同組合の將來は決して失望す可きものではない。此運動は大體三十年ばかりの歴史しか有して居ない。然も其間には自己に何等責任のない所の身に降り

かゝつた次から次の危難を切り抜けて來て居るのである。歐洲大戰直後の好景氣時代、續いて起る不況、購買組合をして獨立した中央機關なからしめ、且つ組合に重大なる財政上の損害を與へた所の農業卸賣聯合會の失敗、組合をして指導統制機關なからしめた所の農業組織聯合會の休止、一般購買力を減少せしめた炭坑爭議の年、更に最近の物價の大暴落等々、全く矢つぎ早の危難の襲來であつた。之等の危難によく堪えて來た所の組合組織と云ふものはイングランドの農業經營の中に永久的な生命を持つものと考へられるのである。農村經濟の更生の如何なる計畫にも必ず、農村社會の必要と傾向から生み出され、そして試験と錯誤の荊棘の道を経て今日の地位に到達したる此の協同組合運動を看過してはならない。(終)

中國合作學社仙舟先生紀念合作圖書館

借閱者注意

- 一 借書期限本埠社員以二十天爲限外埠社員以三十天爲限但本館遇需要時得隨時索回
- 二 借書如交郵寄還必須掛號
- 三 遺失或損壞須照市價賠償
- 四 加意愛護
- 五 逾期不歸還者應照章受罰
- 六 還書時注意向本館索回借書證
- 七 借書人住址變更請即迅速通知本館
- 八 借書滿期請讀者自行注意本館於期前不另通知
- 九 請遵守本館借書規期

(書元-1-1500)

昭和十一年三月二十八日印刷
昭和十一年三月三十一日發行

著作
權有
所

發行所

定價七拾錢

送料不要

編輯兼
發行人
東京市麴町區有樂町一ノ九
千石興太郎

印刷者
東京市牛込區西五軒町五十二
白井祐吉

印刷所
東京市牛込區西五軒町五十二
行政學會印刷所

東京市麴町區有樂町一ノ九

產業組合中央會

電話九ノ内(自二五五五
至二五五五)
振替東京四七二四番

5503



C304.2

648